

会長のページ 災害時における医療救護に関する協定	稲倉 正孝	3
日州医談 「警察活動に協力する医師の部会」の設置について	立元 祐保	4
就任挨拶 宮崎大学医学部附属病院長就任挨拶	吉原 博幸	6
エコー・リレー(465)	松浦 義史, 坂元 幸子	7
国公立病院だより(国立病院機構宮崎東病院)	比嘉 利信	8
部会だより(園医部会)	高村 一志	10
メディアの目 宮崎を歩く	森本 博樹	12
医師国保組合だより 楽しかった歩こう会	谷口 二郎	19
診療メモ 今、なぜロコモティブシンドローム(ロコモ)なのか?	帖佐 悦男	60

宮崎県感染症発生動向	14
各都市医師会だより	16
あなたできますか?(平成24年度医師国家試験問題より)	20
薬事情報センターだより(324 要指導医薬品)	21
ベストセラー	22
都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡協議会	23
医師国保組合だより 宮崎県医師国民健康保険組合第110回通常組合会	26
日医インターネットニュースから	28
理 事 会 日 誌	30
追悼のことば	38
県 医 の 動 き	39
会員の異動・変更報告	40
ドクターバンク情報	43
行 事 予 定	47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あ と が き	64

~~~~~

|                              |    |
|------------------------------|----|
| お知らせ クールビズについて .....         | 5  |
| 第15回宮崎県医師会医家芸術展作品募集! .....   | 11 |
| 「はまゆう随筆」原稿募集 .....           | 13 |
| 宮崎県医師会役員等の選挙のご案内 .....       | 18 |
| 県医師テニス大会(春季)への参加のご案内 .....   | 22 |
| カット, イラストの募集 .....           | 37 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています ..... | 49 |
| 郡市医師会への送付文書 .....            | 62 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：油絵〕

### 緑陰

休日のある日、久しぶりに家族連れでピクニックに出かけました。遊歩道を散歩している時 2 歳の孫が、ふと立ち止まって地面に見入っています。近寄ってみますと、芝生の上で揺れている木漏れ日を不思議に思ったようでした。そこにはさわやかな風と空気・光の織りなす何とも幻想的な光景があり、思わず小人のような光の踊りに我を忘れてしまいました。

宮崎市 藤 木 浩

## 会長のページ

## 災害時における医療救護に関する協定

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 7 年 1 月 1 日に発生した阪神・淡路大震災は 6,437 名の犠牲者(死者+行方不明者)、43,792 名の負傷者と家屋の倒壊・焼失、鉄道・高速道路・港湾の損壊、ライフラインの寸断など、阪神・淡路地域に未曾有の被害をもたらした。この兵庫県南部大地震は短周期の衝撃型震動を発生させ、比較的狭い範囲に大きな被害をもたらすことが知られている直下型地震の典型であった。これに対して、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は長周期のプレート境界型の地震で、18,508 名の犠牲者、6,148 名の負傷者と東北地方太平洋沿岸の広い地域を徹底的に破壊した。被害の大半は地震に伴った大津波によるもので、事故発生後 3 年を経過した現在でも、東京電力第 1 原子力発電所の事故は解決の目処さえついていない。

東日本大地震・大津波による甚大な被害を鑑みると、南北に 160km と長い海岸線を有し、海岸線に面した比較的狭い平野部に人口が密集し、インフラも整備されている本県の場合、東南海・南海地震のようなプレート境界型の地震に伴い発生すると予想される大津波・広範囲の液状化現象による被害は甚大なものになると想定される。地震発生直後の急性期(概ね 48 時間)であっても、DMAT だけでは医療・救護の需要に対応できないと思われる。

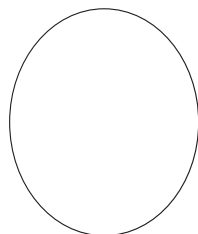
平成 18 年 10 月 2 日に北九州市で開催された平成 18 年度九州各県保健医療福祉主管部局長と九州各県医師会長との合同会議において、阪神・淡路大震災の甚大な被害を省みて、「九州・山口 9 県災害時相互応援協定の見直し」が検討された。九州医師会連合会長・山口県医師会長の連名で九州各県・山口県知事に対して 4 つの要望(医師会医療救護班の位置づけ、早急な協定の締結、受け入れ支援体制の構築、現実に即した相互支援体制の確立)が出されている。それに基づいて、平成 19 年 3 月 28 日に宮崎県医師会秦喜八郎会長と宮崎県東国原英夫知事との間に「災害時における医療救護に関する協定」が締結された。

その後、東日本大震災の反省および JMAT の果たした役割を踏まえ、平成 24 年 7 月に長崎県医師会より、「災害時における九州ブロックの災害時医療救護協定」について、以下の修正案が提出され、各県で検討中である。主な内容は次の通りである。

- ① JMAT の公的な位置づけを行う(県医療計画及び災害派遣協定への記載)
- ② 二次災害時の傷害保険による補償を行う(DMAT と同様)
- ③ 派遣先を県内及び県外とし、九州ブロックに限定しない
- ④ 県境での災害時の対応
- ⑤ 派遣の事後追認(DMAT では超急性期とのことで認められている。災害救助法適用の問題もある)
- ⑥ 九州各県で個別に協定を締結する

(平成 26 年 4 月 30 日)

## 日州医談

「警察活動に協力する医師の部会」の  
設置について常任理事 立<sup>たつ</sup>元<sup>もと</sup>祐<sup>すけ</sup>保<sup>やす</sup>

初めに

平成24年6月、死因究明二法(「死因・身元調査法」,「死因 究明等推進法」)が成立した。新法成立の端緒は、平成19年の大相撲時津風部屋の力士暴行死事件にある。この事件は当初稽古中の心臓死とみられていた、しかし、不審に思った家族の要望で解剖を行った結果暴行死であることが判明した。この事件をきっかけに死因究明について議論が巻き起こり、死因究明二法の成立に至った。

死因究明の現状

警察の取り扱う死体には犯罪死体、変死体、それ以外の死体がある。変死体は刑事訴訟法第229条で検視を行うこととされ、それ以外の死体は死因身元調査法で死体発見時の調査をおこなうこととされている。平成24年の警察における死体取扱い総数は173,833体(犯罪死体734体、変死体22,722体、その他の死体150,377体)であった。変死体やその他の死体は尿・薬物検査・画像検査などが行われているが、これらの検査で犯罪性なしと判断されたものの中で犯罪を見逃されている場合もある。

一方、平成23年の東日本大震災の経験から、一度に多数の検案医が必要となる事態も考えられる。想定されている南海トラフの地震では、県内で42,000名の死者(うち津波による死者は39,000名)が出ると予想されている。これに対応するために多数の検案医が必要となる。東日本大震災の際にボランティアで検案活動に当たっ

た医師は「あの極限の状態の中で1日30体弱の検案を行い、5日間が限度であった」と報告している。

日医の方針

日医としては、これらの新たな社会的要請に応えて検案の態勢を整えることが急がれる。これまで、いくつかの都道府県に警察医会があった。しかし、それは必ずしも医師会と連携するものではなく、事務局も医師会のほか大学法医学教室や会長個人の自宅など様々であった。平成25年9月に宮崎市で開催された日本警察医会総会で、同会は発展的に解消し平成26年度より日本医師会による全国組織への移行が承認されている。これを受け、日医では「警察活動に協力する医師の部会の協議会(仮)」を作ることになり下記の方針を立てた。

- ①都道府県医師会に「警察活動に協力する医師の部会」を設置すること
  - ②日本医師会で上記部会の連絡協議会を開催すること
  - ③これらの業務を含む、検案、A i(Autopsy imaging)等の死因究明全般に関する検討委員会を日本医師会内に設置すること
  - ④死体検案研修を充実・強化すること
- 本会の取組み

本会では、これまで県医師会内に警察医会の事務局を置き両者が連携して活動してきた。今後は、死体検案、A i、血液等体液の検査などの要請も増すものと考えられる。これまで検案の

必要が出た場合、警察医会の先生方の協力により検案が行われてきたが、今後これをさらに強力なものにし組織化する必要がある。

南海トラフ大地震で想定される死者数、また、一人の医師の死体検案能力は 150 体弱が限度であることを考えると、必要時に検案に協力できる医師数は確保しておかなければならない。また、近隣の県で災害が起こった場合に応援できる態勢も必要となる。当会としても、これらに応える必要から警察や警察医会と密に連携し、死体

検案に関する講習会を定期的実施し、会員の検案能力の充実を図ることが喫緊の課題である。

本会としては、日医の方針に呼応し会内に「警察活動に協力する医師の部会(仮)」を置き、5 月 24 日に本年の「死体検案研修会」を開催することになった。当日は、県警察本部からの説明と宮崎大学医学部法医学教室・湯川教授の講演を予定している。多数の会員の先生方のご参加をお願いしたい。

## お知らせ

### クールビズについて

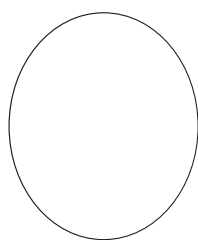
県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 26 年 5 月 1 日より平成 26 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 就任挨拶

## 宮崎大学医学部附属病院長就任挨拶

よし はら ひろ ゆき  
吉 原 博 幸

2014年4月1日付で、宮崎大学理事(医学部附属病院長)を拝命しました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、1974年6月に、宮崎医科大学の第1期生として宮崎に参りました。それ以前に、大阪大学(合成化学)を卒業後、北九州の製造業に勤務しておりましたが、思う所あって医学の道を志し、国会審議の遅れで5月に入試が行なわれた宮崎医科大学に運良く合格したのが宮崎との縁の始まりです。生まれ故郷の長崎県佐世保市と宮崎は九州では地理的にもっとも遠い関係で、このような偶然がなければ、宮崎で人生の大半を過ごすことにはならなかったと思います。

宮崎医大の一期生は、本当にユニークな人たちばかりでした。先輩も居らず、手探りの6年間でしたが、あのような逆境を経験出来たのはありがたいことだと思います。その経験が功を奏したのかわかりませんが、宮崎医大卒業生の全国的な活躍はご存知の通りです。

医学部を卒業後、大学院(第二生理：美原教授)に進学し、学位取得。その後、第二外科(古賀教授)で10年間外科医としての修練を積みました。古賀教授の美しい手術は今も強い印象として記憶に残っています。

1989年頃、病院情報システムの導入の現場責任者を拝命したのが医療情報分野へ進む転機となりました。当時の木下学長のご尽力で1995年に医療情報部が正式に誕生。その初代教授となりました。当時の医療情報部の仕事は、病院業務の電子化、特にオーダーエントリーシステムが中心でしたが、近い将来の電子カルテ化を見据えて、病院を越えた医療情報の共有の方法を

検討し始めました。医療機関同士、医療機関と患者さんの情報共有、研究への2次利用などです。98年にハーバード大学、マサチューセッツ工科大学への留学を経験しました。アメリカで生活してみて、ヒトの一生の全ての情報を安全に管理出来る仕組みが必要だと思うようになりました。今で言うライフログのようなものです。その手始めとして、個人の一生の医療情報を管理する仕組みの開発に取り組み始めました。その後、経済産業省の資金援助で、2001年にその仕組みが完成し、宮崎では「はにわネット」京都では「まいこネット」として稼働しています。希望される患者さんは、ご自分の医療情報をいつでも参照出来ます。また、京大病院、府立医大病院に患者さんを紹介した開業医も患者カルテの参照が可能となっています。

2000年に熊本大学、2003年に京都大学に異動し、貴重な経験をさせていただきました。昨年、菅沼学長から病院長の話をしていただいた時は、そのような重責が勤まるのか、相当に悩みましたが、宮崎医科大学創立40周年の節目に、第1期生が重要な役割を担うことは重い意味があること、卒業生ならではの貢献が出来るかも知れないこと、そしてなにより、このことが若い人たちのモチベーションを上げることに繋がること、などなどを考えて病院長を拝命することとしました。昨今、ヒト、モノ、カネの都会集中の陰で、地方は疲弊するばかりですが、幸いなことに、宮崎は自然に恵まれ、医療の分野では、医師会、大学、行政が大変良い関係にあります。都会の真似ではなく、宮崎ならではの医療の発展を目指して、微力ながら頑張りたいと考えております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

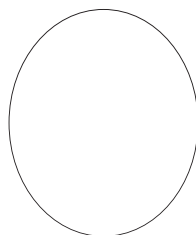
## エコー・リレー

(465回)

(南から北へ北から南へ)

## 健康寿命／アンチエイジング

宮崎市 まつうら眼科 まつ 浦 義 史



ここ 10 年程、溪流釣りの解禁となる 3 月に西米良の山奥へヤマメを求めて出かけている。毎年ある老夫婦の畑脇に車を駐めさせていただいている。こんな山奥で二人きりの毎日。どんなに不便な生活だ

ろうか、想像がつかない。

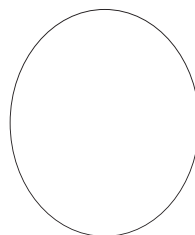
先日テレビのクイズ番組で「健康寿命 / 都道府県別ランキング」をみていた。トップは長野県でなんとなく納得。宮崎県は第 5 位と上位にあったのは意外だったし、ちょっとうれしかった。健康寿命とは、“健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間”と 200 年に WHO が制定している。日本人の平均寿命が伸びているのは周知のことだが、健康寿命との差は不健康期間を意味する。疾病予防と健康増進等によりこの差を短縮できれば人生のクオリティ低下を防ぐことができる。

今年で医師になって 30 年になる。当時は宮崎県の眼科医数が 60 名程と不足しており、それも理由のひとつで眼科医を選んだが、長寿の国となった現在、QOL 低下を防ぐために感覚器官いわゆるマイナー科の医師の一人としてその役割の重要性を再認識させられている。老眼をはじめ、白内障、緑内障、黄斑変性など加齢とともに罹患率の高まる疾患の診療に明け暮れていると、最近ふとアンチエイジングに興味を抱くようになり、今後のライフワークの一つにしようかと考えている。

[次回は、宮崎市の中村 邦子先生をお願いします]

## 故 大堂先生の思い出

都農町 都農町 国民健康保険病院 さか もと ゆき こ 坂 元 幸 子



大堂庄三先生は、九州保健福祉大学の教授を退官された後、愛泉会日南病院の院長を勤められ、平成 24 年に 76 歳で亡くなられた。私は、愛泉会日南病院で約 4 年間大堂先生の下で働かせていただいた。

その頃息子は 5 歳から 9 歳の時期で、車で 2 時間以内に頼る人がいない私にとって、子育てとの両立は難題であった。

病氣、けが、近所のガラスを割ったなど呼び出されるたびに、こころよく代理に応じてくださった。恐縮する私に「医者には、家庭に気がかりがあったら患者さんに十分な仕事はできません。まずは、おうちのこと、お子さんのことをきちんとしてあげてください」いつもこうおっしゃっていた。

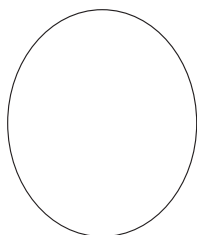
小児科学会宮崎地方会で演題を出すことになり、内容を詰めスライドもほとんどできあがり、発表まで 2 週間余りとなった。そこで(なぜもっと早く気づかなかったのか)地方会と小学校の運動会が同じ日であることに気づいた。転校したばかりなのに祖父母だけの参加で大丈夫か、悩んだ末、恐る恐る大堂先生にお話しした。大堂先生は何の躊躇もなく、「運動会に行っておあげてください。発表は僕がしますから」と言われた。涙がでそうなほどうれしかった。

小児科医としてだけではなく、子育ての考え方も非常に影響を受けた 4 年間であった。女性医師支援という言葉が 10 年以上前から提唱されているが、当時 70 歳前後の大堂先生が身をもってくださった最高の支援であった。

[次回は、宮崎市の糸数 智美先生をお願いします]

## 国公立病院だより

### 国立病院機構宮崎東病院



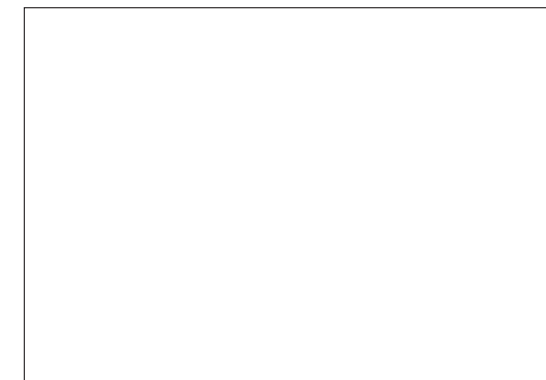
ひが としのぶ 院長  
比嘉 利信 院長  
国立病院機構宮崎東病院は宮崎空港の近く、国立病院と書かれた給水塔が目印です。2, 3 年後には国道 220 号線バイパスから 5 階建て新病棟が視界に入ってくるでしょう。病む人のために良い医療環境を提供できるならば、大変喜ばしい限りです。当院の歩みとともに、国立病院機構についてもご紹介したいと思います。

#### 沿革

当院は、昭和 14 年に開設され戦争で焼失した傷痍軍人宮崎療養所の跡地に、昭和 2 年(1952 年) 3 月、国立赤江療養所が創設されたことが起点となっています。昭和 55 年 4 月に国立療養所宮崎東病院と名称変更されました。一方、焼失後の宮崎療養所は別府市に疎開した後、川南町唐瀬原に帰還して現国立病院機構宮崎病院に繋がっていきます。しかるに宮崎病院が川南町に、宮崎東病院が宮崎市に存立している理由です。そもそも国立病院の多くは、傷痍軍人療養所や陸軍病院、海軍病院が母体となっています。国立病院・療養所の統廃合再編成の中で、平成 14 年 7 月に当院は国立療養所日南病院と統合し、平成 16 年 4 月、全国 14 施設からなる独立行政法人国立病院機構が設立され、現在の病院名となりました。

#### 国立病院機構と政策医療

国立病院の時代は、赤字経営でも毎年交付金が投入され、まさに「親方日の丸」でした。独立行政法人(独法)は、国の業務を法人に任せて効率化を図り収支の相償化を目指すこととされ、国立病院機構(NHO)は年度ごとにリセットされる官庁会計から独立採算制の企業会計に移行し



ました。発足時 NHO 全体で約 7,500 億円の膨大な長期債務返済の他に、他の公的病院には無い基礎年金の国庫負担分の支払い、過去の退職公務員の年金も課せられ、まさに重たい船出だったといえましょう。発足後 10 年を経て、職員の意識改革の上に、医療機器、医薬品等の共同購入が図られるなど、顕著な経営改善を果たしてきました。基本的に、機構病院に対する医業収支に対する国からの補助金はありません。

また NHO の使命の一つに政策医療が掲げられています。政策医療とは、国民の健康を守るため国をあげて取り組むべき医療とされ、先駆的医療、難治性疾患、広域的・国際的医療の他、セーフティネットといわれる結核、重症心身障害、筋ジスや神経難病など民間ではアプローチ困難な分野が示されています。国家的危機管理への迅速な対応として象徴的な事例は、新型インフルエンザ流行時や東日本大震災における医療活動です。2009 年の新型インフルエンザ流行時には、厚労省の意向を受け、検疫所や空港の防疫活動に職員が派遣され、同時に多くの職員による治験参加により短期間で安全に国民に新型ワクチンが提供されたものです。東日本大震災、原発事故においては約 2 か月にわたり 9,300 名の大規模な派遣救援活動が実践されました。最近の歩みと現況

さて宮崎東病院の最近の歩みと現況をご紹介します。2004 年開放型病院と地域医療連携室の開設、呼吸器外科・外科の新設、2006 年 MRI の



稼働，2009年腫瘍内科の新設，2010年児童精神科の新設，2011年電子カルテの稼働，2013年 SPECT -PET の稼働，2014年整形外科の開設など診療機能が徐々に充実してきました。標榜診療科は 13 病床数 300 243名の職員から構成される中規模病院で，開放型病院登録 84施設を中心に連携を強化しています。地域医療計画に掲げる 4 疾病 5 事業に関わりつつ，一般医療と政策医療を組み合わせた診療を展開しています。また地域に見える顔として，主な診療機能を次の 7 つの旗(センター)に示しています。

- (1)呼吸器センター：呼吸器感染症，COPD，間質性肺炎など専門性の高い診療を行っています。結核は宮崎県の拠点施設となっていて，強化療法や遺伝子診断の進歩などにより，大幅な在院日数の短縮化(50～60日)が図られています。一方，政策医療とはいえ不採算運営を強いられており，新棟では 60床から 16床に縮小する予定です。また腫瘍内科は肺がんに特化し，県内における標準的治療の推進を図り，化学療法と外科的療法による集学的治療を展開しています。年間約 180名に肺がん治療がなされ，手術症例は肺がん，気胸を中心に 70～90例です。
- (2)神経・難病センター：宮崎県難病医療連絡協議会の拠点病院として画像診断を駆使しながら高度の専門的診断，治療や研修を行っています。人工呼吸器装着者は約 50名余あり，重症者に対する数少ない受入施設となっています。神経内科医 3 名で対応していますが，若い専門医の養成が課題です。
- (3)生活習慣病センター：高血圧など循環器疾患の診療を専門とし，糖尿病，高脂血症などメタボリックシンドロームや，高齢者の心不全，不整脈，脳血管障害など重点的に取り組んでいます。
- (4)小児内分泌・代謝・アレルギーセンター：小児における内分泌疾患，糖尿病，低身長，肥満などに加え，最近ではアスペルガー症候群，不登校など精神的疾患を有する患儿が増

え，児童精神科と協力して療育指導に当たっています。

- (5)運動器疾患治療センター：整形外科の開設により発足しました。高齢化社会を迎え，運動器疾患の需要に応えるものと期待しています。術後のリハビリなど地域連携パスを充実させていきたいと考えます。
- (6)救急医療センター：救急告示施設を標榜しています。宮崎市郡医師会における内科 2 次救急輪番，吐血・下血輪番を引き受け，また休日在宅当番では小児科・内科・外科が参加しています。
- (7)画像診断センター：SPECT -PET の稼働により，ヘリカル CT，1.5T -MRI と併せ大型医療機器が整備され，より高度な医療の提供が可能となりました。地域の共有財産として，大いにご活用いただきたいと思います。

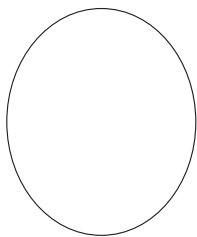
#### 今後の展望

当院は 95,566 平方メートルの広大な敷地に平屋の各病棟が配置され恵まれた療養環境ではありますが，老朽化と効率性や機動性に欠けることなどから病棟建替えを計画しています。内閣府による南海トラフ地震・大津波浸水マップでは，病院敷地は海岸から比較的近くにありながら標高は 7.5m あり，非浸水地域に表示されています。地元自治会，空港ビル，学校，養護老人施設などを中心とする周辺地区協議会からも，大津波の避難施設として高層建築の要望書をいただき，地域をあげて後押しされています。

これから，NHO は医療自由度の高い新しい法人化を目指し，宮崎東病院は建替整備を機に新たな展開に踏み出そうとしています。少子高齢化や疾病構造の変化にも柔軟に対応しつつ，病院の特性を十分発揮させていきたいと考えます。私たちは，地域から信頼され，愛され，誇りの持てる病院を目指し，安定した経営基盤の上に良質かつ高度な医療が提供できるよう努力して参ります。皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。(比嘉 利信)

## 部会だより

## 園 医 部 会



たかむら かずし 部会長

宮崎県医師会園医部会が発足したのは平成1年のことで、医師会の部会としては歴史の浅い部会ということになります。初代の担当理事は現在宮崎県健康づくり協会の浜田恵亮先生、二代目は故

佐藤雄一先生です。

県園医部会は毎年6月に理事会を開催しています。理事会では前年度の事業報告、歳入歳出決算、次年度の歳入歳出予算案を承認していただきます。理事会で毎年問題になるのは、その年度の総会時に行われる講演の講師選定です。最近では時代を反映して、発達障害、食物アレルギーなどに関する講演の希望が増えています。昨年度は9月14日に総会ならびに研修会を行いました。発達障害児が増えていること、あるいはその対応の困難さから、園現場でも発達障害に関する要望が多くなってきています。特別講演の一つ目は宮崎市健康支援課、親子の健康係主査の井上美佐様に「すこやかな子ども達の育ちのために～宮崎市の母子保健事業」と題しまして、発達障害に対する行政の支援という立場から、講演していただきました。特別講演の二つ目は大阪大学大学院連合小児発達学研究家招聘教員の腹巻智子先生に「発達障害の理解と支援について」と題しまして、発達障害の新しいトピックスについて講演していただきました。佐賀県では発達障害の早期発見を先進的におこない、両親に対するトレーニングを積極的に行うことで、発達障害児の生きづらさに対応するという取り組みがなされています。医療現場だけでなく、家

庭、園、行政が一体となって取り組まなくては解決できない、大きな問題だということを再認識しました。

園でのもう一つの大きな問題として、食物アレルギーの対応が上げられます。厚生労働省は「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を作成し、園での食物アレルギーやアナフィラキシー対応のレベルアップを推進しています。その中の「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」は今後、園医部会でも活用を推進することが必要と考えています。なお、このガイドラインはそのままPDFファイルとしてダウンロードできますので、是非ご活用ください。また、今年の九州ブロック学校保健・学校医大会は宮崎県医師会が担当となり8月に開催されます。特別講演は「学校におけるアナフィラキシー対応～調布市での取り組み」と題しまして、東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科准教授、勝沼俊雄先生にお願いしました。園医の先生方はもちろん、それ以外の先生方にも参考となる講演だと思われるので、多数の参加をお願いいたします。

園医部会はその他、乳幼児健診に使用する健診表の作成、感染症の登園基準など、厚生労働省の考えと齟齬のないように順次改訂をしています。園医の先生方の益々のご活用をお願いいたします。

近年、保護者から園への要求は高まっていくばかりです。園側も医療、発達などの専門的な問題に関しては医師の意見が必要となります。そのためにも普段からの園側との連携が不可欠ではないかと考えています。「園医は園に出かけよう」今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(高村 一志)

## お知らせ

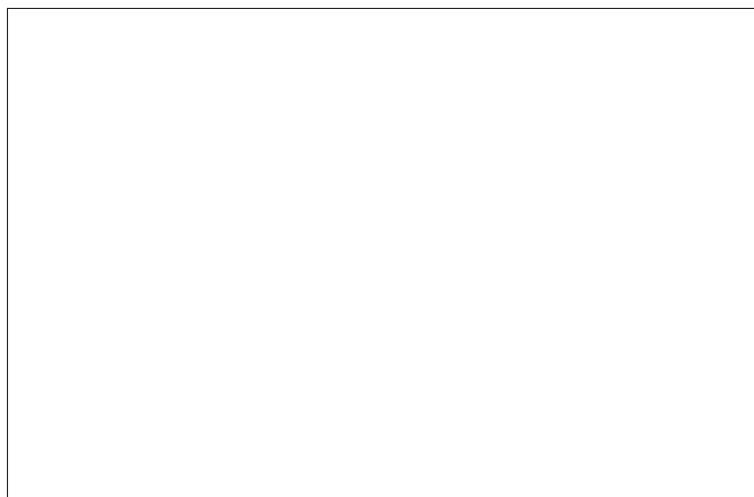
## 第 15 回 宮崎県医師会

a ~ | p W i W !

「優秀な作品を一同に展示し，作品を通じて交流を図ると共に，創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に，平成 12 年から始まった宮崎県医師会医家芸術展は，本年度で第 15 回を開催する運びとなりました。

おかげさまで，去年は 46 名の方々から 111 点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い，素晴らしい展覧会となりました。また，入場者は 6 日間で 2,416 人と過去最高となり，年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

今年も県立美術館県民ギャラリーにて開催します。下記要領にて作品を募集しますので，会員及びご家族のご出展を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

展示期間：平成 26 年 8 月 12 日(火)～ 17 日(日)( 6 日間)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2

応募作品：絵画，写真，書道

応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

応募方法：出品希望の方は応募用紙を送付しますので，下記までご連絡ください。出品者名，出品部門，作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。

※作品の搬入出につきましては，各自の責任のもとでお願いいたします。

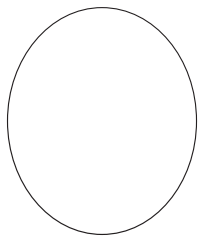
※来場者が作品を撮影することがありますので，ご了承ください。

応募締切：6 月 10 日(土)

応 募 先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118・FAX 0985-27-6550

## メディアの目



## 宮崎を歩く

西日本新聞 宮崎総局長

もりもと ひろき  
森 本 博 樹

宮崎を歩いている。

昨年6月、宮崎に転勤して以来、「次はどこに行こうか」と地図を見るのが楽しみの1つになっている。起点は住まいのある宮崎市。終着は今のところ温泉だ。ウォーキングの最後は湯船につかり、そして締めはアルコール。もちろん、宮崎産の焼酎で。帰りは宮交バスか、JR。

これまで綾町、高岡町、高鍋町などを歩いた。高鍋に向かう際は、国道10号では「道が平坦で面白みに欠けそう」と勝手な想像をして、起伏のある県道4号を選んだ。宮崎市から30数キロ。上り下りにちょっと後悔させられたが、焼酎が入れば、そんなもんは忘れてしまう。ありがたい飲み物である。

元々、訳もなく長い距離を進むのが好きだった。東京での学生の頃、最初は4人で長野県上田市から60キロ。これがきっかけとなり、暇つぶしからクセに。時間帯は夜中。東京を離れる際に「最後は1人で」と伊豆の踊子コースに挑戦した。修善寺から下田まで約48キロ。真っ暗な

山道。1時間に1台くらいの割で車とすれ違う。それが唯一の光。今では、とてもではないが、そんな状況では怖くて歩けない。35年前には、若さもあったが、人の恐怖は全く感じなかった。

目標として毎日2万歩を課している。ひと月で60万歩。3月は約68万歩だった。理由は足腰の鍛錬と持病の予防。糖尿病、心臓病、高血圧に痛風。眼底出血もした。病氣自慢になってしまいが、飲み食いを減らすのは楽しみが奪われそうで面白くない。それなら代替として「運動を」と。たぶん、無茶な考えだろうが、体の調子は悪くない。健康というのも個人差があるのでは。

歩いていると、頭の中を空っぽにできるし、街の風景を覚え、季節のにおいを感じられる。生まれ故郷が延岡の私は、宮崎市周辺や県南とはあまり縁がなかった。折角の宮崎市勤務。このチャンスを生かさない手はない。日南、都城、小林……。泊まりがけで延岡までの90キロも歩こうと思う。最後の目的地は西米良。「バカじゃないの」との家人の声を無視して。

## 「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内（字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締 切：平成 26 年 6 月 28 日(土)

◎原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル，ご氏名を先頭に付記して下さい。

◎掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

◎掲載はお一人，1 編とさせていただきます。

◎ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

◎原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

◎原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

◎日州医事は，会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス([genko@m-iyazakimed.or.jp](mailto:genko@m-iyazakimed.or.jp))宛お送りください。もちろん，それ以外の方法(FAX，郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: [genko@m-iyazakimed.or.jp](mailto:genko@m-iyazakimed.or.jp)

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118



## 宮崎県感染症発生動向 ～3月～

平成26年3月3日～平成26年3月30日(第10週～13週)

## ■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核23例：保健所別報告数を【図1】に示した。  
患者が16例、無症状病原体保有者が5例、疑似症患者が2例で、患者は肺結核が13例、その他の結核では結核性胸膜炎が2例、粟粒結核が1例であった【表1】。男性14例・女性9例で、年齢別報告数を【表2】に示した。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：宮崎市保健所管轄内で報告された。  
・患者は1歳で、水様性下痢、血便がみられた。原因菌のO血清型はO26(VT1産生)。  
・患者は70歳代で、腹痛、水様性下痢、血便、発熱がみられた。原因菌のO血清型はO14(VT1産生)。
- 4類：○E型肝炎1例：宮崎市保健所管轄内で報告された。患者は80歳代で、全身倦怠感、食欲不振、肝機能症状がみられた。  
○A型肝炎11例：宮崎市(5例)・延岡(1例)・日南(3例)・小林(2例)保健所管内で報告された。男性6例・女性5例で、年齢別報告数を【表3】に示した。主な症状は全身倦怠感、黄疸、肝機能異常、食欲不振等であった。  
○重症熱性血小板減少症候群1例：日南保健所管内で報告された。患者は60歳代で、主な症状は食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹であった。  
○ボツリヌス症1例：宮崎市保健所管内で報告された。患者は10歳代で、主な症状は弛緩性麻痺、複視、嚥下困難、口渇、便秘、筋力低下、呼吸困難であった。
- 5類：○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内で報告された。患者は60歳代で発熱、全身倦怠感、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症がみられた。  
○梅毒1例：宮崎市保健所管内で報告された。患者は40歳代で早期顕性梅毒(I期)。直腸炎がみられた。

## ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は8,363人(定点あたり181.5で、前月比73%と減少した。また、例年の111%と多かった。前月に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、手足口病であった。

インフルエンザの報告数は5,286人(89.6で前月の約6割、例年の約1.7倍であった。小林(165.4、都城(126.7)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の29%、

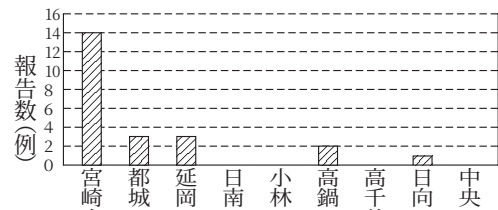


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

|           |    |
|-----------|----|
| 肺結核       | 13 |
| その他の結核    | 3  |
| 無症状病原体保有者 | 5  |
| 疑似症患者     | 2  |

表2 結核 年齢別報告数(例)

| 8か月 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 1   | 1    | 1    | 2    | 2    | 5    | 7    | 4    |

表3 A型肝炎 年齢別報告数(例)

| 20歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 |
|------|------|------|------|
| 3    | 1    | 3    | 4    |

前月との比較

|                    | 2014年3月<br>報告数<br>(人) | 2014年2月<br>報告数<br>(人) | 2014年2月<br>定点当<br>たり(人) | 2014年2月<br>定点当<br>たり(人) | 例年<br>との<br>比較 |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------|
| インフルエンザ            | 5,286                 | 89.6                  | 8,524                   | 144.5                   | ★              |
| RSウイルス感染症          | 151                   | 4.2                   | 241                     | 6.7                     | ★              |
| 咽頭結膜熱              | 102                   | 2.8                   | 175                     | 4.9                     |                |
| ※溶レン菌咽頭炎           | 235                   | 6.5                   | 254                     | 7.1                     |                |
| 感染性胃腸炎             | 2,005                 | 55.7                  | 1,910                   | 53.1                    |                |
| 水痘                 | 223                   | 6.2                   | 297                     | 8.3                     |                |
| 手足口病               | 164                   | 4.6                   | 165                     | 4.6                     | ★              |
| 伝染性紅斑              | 3                     | 0.1                   | 4                       | 0.1                     |                |
| 突発性発しん             | 127                   | 3.5                   | 105                     | 2.9                     |                |
| 百日咳                | 1                     | 0.0                   | 0                       | 0.0                     |                |
| ヘルパンギーナ            | 1                     | 0.0                   | 6                       | 0.2                     |                |
| 流行性耳下腺炎            | 18                    | 0.5                   | 14                      | 0.4                     |                |
| 急性出血性結膜炎           | 0                     | 0.0                   | 0                       | 0.0                     |                |
| 流行性角結膜炎            | 44                    | 7.3                   | 58                      | 9.7                     | ★              |
| 細菌性髄膜炎             | 0                     | 0.0                   | 0                       | 0.0                     |                |
| 無菌性髄膜炎             | 0                     | 0.0                   | 6                       | 0.9                     |                |
| マイコプラズマ肺炎          | 1                     | 0.1                   | 1                       | 0.1                     |                |
| クラミジア肺炎            | 0                     | 0.0                   | 0                       | 0.0                     |                |
| 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルス) | 2                     | 0.3                   | 0                       | 0.0                     |                |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

6～9歳が28%，10～14歳が21%，15～19歳が4%，20～50歳代が19%，60歳以上が3%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は151人(4.2で前月の約6割，例年の約1.3倍であった。延岡(14.0，日向(11.5)保健所からの報告が多く，年齢別では6か月未満が全体の23%，6～11か月が33%，1歳が26%，2歳以上が18%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は2,005人(55.7で前月及び例年と同程度であった。小林(175.0，日南(73.0)保健所からの報告が多く，年齢別では5歳以下が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は164人(4.6で前月と同程度，例年の約7.4倍であった。宮崎市(7.7)，高鍋(7.5)保健所からの報告が多く，年齢別では1～3歳が全体の約8割を占めた。

## ■月報告対象疾患の発生動向〈3月〉

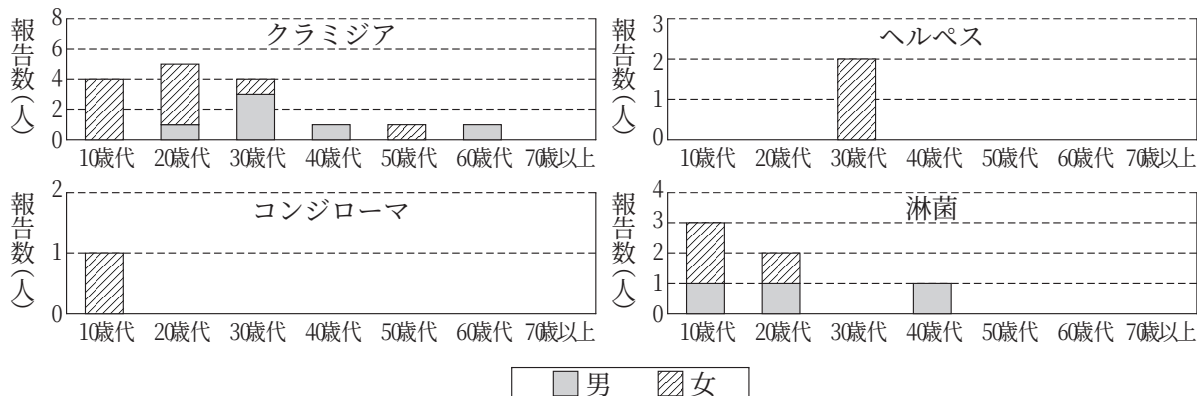
### □性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は25人(1.9で，前月比63%と減少した。また，昨年3月(2.5)の約8割であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数16人(1.2で，前月の約6割，前年の約1.1倍であった。20歳代が全体の約3割を占めた(男性6人・女性10人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15で，前月及び前年の約4割であった(女性2人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08で，前月と同程度，前年の約半数であった(女性1人)。
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46で，前月の約7割，前年の約半数であった。10歳代が全体の約半数を占めた(男性3人・女性3人)。



### □薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は28人(4.0で前月比108%と増加した。また昨年3月(4.3)の約9割であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人(3.9で，前月と同程度，前年の約9割であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14で，前年と同程度であった(前月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## ■病原体検出情報(微生物部)

|      | 検出病原体                                                                                           | 件  |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ウイルス | インフルエンザA/H1pdm09型                                                                               | 4  |
|      | インフルエンザA/H3型                                                                                    | 2  |
|      | インフルエンザB型(山形系統)                                                                                 | 2  |
|      | インフルエンザB型(ビクトリア系統)                                                                              | 1  |
|      | パラインフルエンザウイルス1型                                                                                 | 1  |
|      | ヒトメタニューモウイルス                                                                                    | 2  |
|      | ライノウイルス                                                                                         | 3  |
|      | A型肝炎ウイルス                                                                                        | 12 |
| 細菌   | <i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)                                                              | 1  |
|      | <i>Clostridium butyricum</i> (E型ボツリヌス毒素産生)                                                      | 1  |
|      | EHEC(O26:H11VT1)                                                                                | 1  |
|      | EPEC(OUT:HUTeae)                                                                                | 2  |
|      | <i>Escherichia spp</i> (LT産生)                                                                   | 1  |
|      | <i>Salmonella infantis</i> (O7:r:1,5)                                                           | 1  |
|      | <i>Salmonella m. anhattan</i> (O8(O6):d:1,5)                                                    | 1  |
|      | <i>Salmonella senftenberg</i> (O1,3,19:g(s)t:-)or<br><i>Salmonella Dessau</i> (O1,3,19:g,s,t:-) | 1  |

## 各都市医師会だより

## 児 湯 医 師 会

私の実家は戦闘機の飛び交う新富町ですが、小学時代からT-33機の騒音に慣らされて育ちました。最近の実家の居間から数年前に開通した東九州自動車道の素晴らしい陸橋が見えます。行き交う車輛を見ていると、夜間はヘッドライトの流れが美しく、酒の肴も要らない程の素晴らしい眺めです。3月に日向延岡間が開通して車の往来の多さを今更ながらに実感しますが、何故か陸橋を見ていると変貌する故郷の昔の風景を思い出します。土葬の行列を恐る恐る見に行き墓場発掘も見た幼少時、防空壕を探検してそこで暮らす家族と遭遇し腰を抜かして逃げた小学校低学年、10月に川で泳ぎ朝礼で先生の説教が怖かったセピア色の思い出。高速道路の陸橋は、昔の思い出と還暦を迎えた今を暖かく包容してくれます。時代の様変わりも宜なるかなと陸橋を眺めています。

先日は、合併症が多く手術不可能と宣告されていた方を海老原総合病院の米澤先生、由浅先生のご英断で助けていただきました。車椅子での余生を余儀なくされていた方でしたが、現在は元気にリハビリ歩行されています。家族の思いに心配りをされ、地域に密着され日々貢献されている病院に改めて感謝、尊敬の念を抱いています。ヘリポートも創設されると聞いています。願わくは、官公庁からもこのような地域拠点病院に積極的に予算や理解を具体的に示していただけたらと痛切に願う昨今です。児湯医師会順調です。（黒木 宗俊）

## 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

旧西都医師会病院の不明金問題に関しては、実際は医師会側には落度はなかった。しかし、その後も、自治体との関係に進退はなく、少ない市民が、悪かったのは医師会側であると今も考えている。内科の救急医療が中止されたままであり周辺の医療機関、市民に迷惑をかけ申し訳なく思います。（水田 能久）

## 南 那 珂 医 師 会

政府の規制改革会議が、医師と患者の合意のもとでの混合診療を大幅に拡大しようとしています。安全性、有効性がない医療には保険から

お金は出せないとの理由で原則禁止であったと聞いているが、自由診療を行うことで医療の質を落としてしまう危険もあると思います。日本が世界からお手本とされている国民皆保険は、どうあっても守らないといけません。私たち産婦人科医は昔から保険診療と自費診療が複雑に絡み合っていますが、それぞれの先生方が原則をしっかりと守り診療されています。規制改革会議も経済性や効率のみを追求するのではなく、現場で患者さんに接している医療者を信用して意見を取り入れてもらいたいです。また、保険での治療法がない難病で苦しんでいる人たちの希望も取り入れてほしいと思います。

（田中 茂樹）

## 西 諸 医 師 会

この春、小林准看護学校は 18 人の新生が入学してきております。西諸医師会では、看護師等養成を重要活動事業としており、准看護学校の存続に取り組んできました。また、平成 2 年度開校予定の看護医療専門学校を学校長を始め、講師の選任、実習施設の依頼等、開設への協力支援もしております。これまでは准看護学校の卒業生は県内外の高等看護学校に進学する生徒も多くおりましたが、今後は地域内で、多様な形で看護職を養成できるようになることと思います。(立山 洋司)

## 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎看護専門学校から准看護師 85 名、看護師 49 名が誕生しました。今年もこのうちの 95% 以上が宮崎の医療機関に就職され宮崎の医療を支えてくれます。医師会立看護学校は地域医療になくてはならない存在です。補助金はありませんが、どこの医師会も経営は苦しく本会計からの繰り入れが必要です。医師会の先生方のご協力で成り立っています。今後とも宜しく願いいたします。(済陽 英道)

## 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

当地域の小児救急医療は都城医師会病院小児科を中心に行っています。平成 25 年度は福岡大学の 2 人体制で何とか乗り切ってもらいました。今年度は宮崎大学小児科から 1 人派遣していた

だき以前の 3 人体制となり、会員一同ほっとしているところです。現時点では宮崎大学からの派遣は 1 年の予定ですが、福岡大学からの増員は困難で(減少はあっても)、来年度以後も県西地域の小児救急医療を守るため宮崎大学からの支援をよろしくお願いします。(橋口 兼英)

## 延 岡 市 医 師 会

延岡市医師会員の高齢化、医師数減少もあり、現在延岡市内においての新規開業で延岡市の補助として結構な額が受けられます。しかしその補助が認知されていないのか、やはり遠方だから人気がないのか、現時点では思ったより新規開業が少なく今後特に小児科の開業が望まれます。また今年 3 月、ついに延岡～宮崎間の東九州自動車道も全線開通しましたので、これからの新規開業に期待したいところです。また新規開業でなくても興味のある方はぜひ延岡の地での勤務をお願いいたします。(日高 孝紀)

## 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

臨時総会が、4 月 12 日(土)に当医師会館で開催されました。上程された事業計画、予算書の報告説明があった後、当医師会の定款施行細則及び選挙規程に基づく役員選挙が行われました。選挙管理委員会が周到な準備を行っていたために開票作業もスムーズに行われ、全役職の当選者が 1 時間程度で決まりました。今回、当医師会始まって以来初めての女性理事が誕生しました。(渡邊 康久)



## お知らせ

宮崎県医師会役員等の選挙のご案内  
(第15回宮崎県医師会臨時代議員会の開催について)

公益社団法人宮崎県医師会は、本会定款第21・32・33・36・39・54条、施行細則第9～11条及び選挙細則第1条～第10条並びに日本医師会定款第15条及び第16条等の規定に基づき、第15回臨時代議員会を開催し、下記の選挙を行う。

## 宮崎県医師会役員等

会 長 1人 監 事 3人  
副 会 長 2人 裁 定 委 員 11人  
理 事 15人以上23人以内(会長、副会長及び常任理事を含む)

※今回、選出する理事定数は、平成26年5月27日(火)開催の臨時代議員会で決定されます。  
※本会定款第36条により、会長、副会長(2名)、常任理事(8名以上12名以内)は理事会で選定します。その際、代議員会で選任された会長候補者及び副会長候補者を会長及び副会長に選定します。  
※任期は、選任(平成26年5月27日(火))後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定例代議員会(平成28年6月に開催予定)終結の時までとなりますが、就任は、現役員の任期が満了する定例代議員会(平成26年6月21日(土)予定)終結後となります(宮崎県医師会定款第39条による)。

## 日本医師会代議員等

代 議 員 4人  
予備代議員 4人

※任期は、日本医師会定款第15条により、選出後最初の定例代議員会開催日(平成26年6月28日(土))から、2年後の定例代議員会開催日(平成28年6月25日(土)予定)の前日までとなります。

## 選挙施行期日及び場所

第15回宮崎県医師会臨時代議員会  
期日：平成26年5月27日(火) 19:00～  
場所：宮崎県医師会館 2階研修室

## 立候補届出及び推薦届出について

- 1) 候補者になろうとするものは、選挙細則第4条により、選挙期日7日前までの平日(今回は平成26年5月20日(火)午後5時)、その旨を所定の書面により宮崎県医師会事務局を経由して、宮崎県医師会会長に届け出てください。
- 2) 会員が他の会員を候補者として推薦する場合には、本人の承諾書を添え、推薦者が所定の書面により、宮崎県医師会事務局を経由して宮崎県医師会会長に届け出てください。
- 3) 立候補届出及び推薦届出には候補者の経歴表を添付してください。

不明な点は、宮崎県医師会事務局(総務課)までお尋ねください。

平成26年5月10日

公益社団法人 宮崎県医師会



## 医師国保組合だより

## 楽しかった歩こう会

宮崎市 たにぐちレディースクリニック 谷 口 二 郎

3月23日に「第18回歩こう会」が開催された。当日、雲一つない天気だった。いつも通り県医師会館に朝9時40分に集合、2台のバスに分乗し、「こどものくに」に向かった。

今の季節は宮崎は花が溢れ一年中で一番綺麗な時期だ。園内では開園75周年を記念したスプリングフェスタが開催中で実に綺麗だ。おとぎの国に迷い込んだような気持ちになった。

さて今回はウオーキンググループとパークゴルフコースに分けられていた。私はパークゴルフコースを選んだ。毎年家族で参加しているのだが、去年は長男家族が全員風邪を引き、私達夫婦だけだったのだが、今年は長女、三女、長男夫婦と孫2人総勢8名の大所帯の参加となった。今回参加した中では一番多い家族メンバーとなった。早速「こどものくに」の中にあるパークゴルフ場に向かった。パターゴルフがゴルフのボールとパターを用いるのに対し、パークゴルフは野球のボール位の硬い球とそれを打つ木製のクラブを用い、ゴルフのパターの要領で芝の上で球を転がす。ホールまでの距離は25mから75mまでで9ホールあり、全部合わせても500mもない短い距離である。一見ゲートボールの道具に見えるが、やり方は全く違う。

コースに出てまずはやってみることにした。まずレディースファースト。そこで家内からということでボールをティに置き、クラブを力一杯振りぬいた。ところが全く当らない。2回目、今度も空振り。3回目も空を切る。「ヘタクソだな～」とつい大笑いしたらこちらを睨みつけられた。これ以上何か言ったら夫婦ゲンカになりそうなので黙っていた。しかし次も大きくボールとの距離がある。又空振りだ。「どれ、私が見本を見せてあげるよ」とクラブを取り上げ、打とうとすると何とクラブが左利き用だった。これじゃ、何回振っても当たるはずもない。右用のクラブに持ち替えても当らなかったらどうしようと思っていたら、ようやく当たった。終わる頃には私より上手くボールに当てている。子どもや孫達も楽しらしく夢中になっている。思ったより運動量があり疲れた。

その後、いよいよバーベキュー。最高の肉、野菜、魚介類が用意されている。理事長が挨拶で一言「皆さん、長生きして下さいね。早死にしたらだめですよ。とにかく元気で特に若い人は長生きして下さい」。確かにここ数年、50代で急死をするDrが続出し、我々も落ち込んでいた時だったのでその言葉が心に響いた。

だから今日のバーベキューも食べ過ぎないように、そしてビールも飲みすぎないように…。そう思っていたが、乾杯が終わるとそんなことすっかり忘れてしまって夢中でかぶりついた。少々暑いのでビールの旨いこと、旨いこと。その上日本酒の一升瓶が2本、何とそれは「八海山」、「久保田」の大吟醸。これを飲まない訳にはいかないとガンガン飲んだ。もっと食べて飲みたいと思っているうちにお開き。もうちょっと食べて飲みたいな～と後ろ髪を引かれながらバスへ。

帰り着いてほろ良い気分ベッドに横になった。目覚めたら6時。もう薄暗い。そろそろ晩飯をと寝室を出たら東の方が明るい。何でこんなに東の方が明るい？と不思議に思いながらテレビのスイッチを入れた。すると何と「目覚ましテレビ」をやっていた。「え～っ!？」どうしてまだよく意味が飲み込めなかった。どういうこと？考えてみれば3時に家に帰り着き、それから延々と白雪姫みたいにコンコンと眠り続けていたらしい。家族はあまりにも起きてこないの、死んでいるのではないかと何回も寝室を覗きに來たという。だが「イビキをかいて息をしているから大丈夫」と誰も起こさなかったとのこと。

そう言えば去年も全く同じだったことを思い出した。15時間も夢の中なんてちょっと恥ずかしいようなバツが悪い様な…。きっとまた来年も歩こう会の後は15時間眠り続けることだろう。

それにしても楽しい一日だったなあ……。そしてこの会を企画し開催してくれた医師国保組合の職員スタッフに感謝。また来年も素敵な企画をして下さい。そしてまた大吟醸宜しく願います。そのためにはやはり長生きしなきゃ…。



## あなたできますか？

— 平成 24 年度 医師国家試験問題より —

(解答は 63 ページ)

1. 淋菌感染症について正しいのはどれか。2 つ 選べ。
  - a 子宮頸管炎として発症する。
  - b Gram 陽性球菌が認められる。
  - c 潜伏期間は 4～6 か月である。
  - d 女性では骨盤内炎症性疾患(PID)に進展する。
  - e 検査法としての PCR 法の感度は Gram 染色と同等である。
2. 19 歳の男性。発熱とどのどの痛みとを主訴に来院した。2 日前から咽頭痛と 39℃ の発熱が出現し、市販の総合感冒薬を内服したが、症状が改善しなかった。意識は清明。体温 38.2℃。脈拍 92/分、整。血圧 110/70mmHg。両側の頸部に圧痛を伴う径 1.5cm のリンパ節をそれぞれ 3 個触知する。咽頭粘膜の発赤を認める。偽膜を伴う扁桃腫大を認める。呼吸音に異常を認めない。右肋骨弓下に肝を 3 cm、左肋骨弓下に脾を 2 cm 触知する。血液所見：赤血球 475 万、Hb 15.2g/dl、Ht 45%、白血球 16,000/分葉核好中球 26%、好酸球 3%、単球 4%、リンパ球 37%、異型リンパ球 30%、血小板 28 万。血液生化学所見：総蛋白 7.4g/dl、尿素窒素 22mg/dl、総ビリルビン 1.2mg/dl、AST 50U/l、ALT 88U/l。CRP 5.3mg/dl。  
確定診断に最も有用な検査はどれか。
  - a 咽頭培養
  - b 骨髓穿刺
  - c リンパ節生検
  - d 鼻腔ぬぐい液迅速検査
  - e 血清ウイルス抗体価測定
3. 母子保健について正しいのはどれか。
  - a 母子健康手帳は都道府県が交付する。
  - b 妊婦健康診査は保険診療の対象である。
  - c 産後休業は母子保健法で規定されている。
  - d 母性健康管理指導事項連絡カードは医師が発行する。
  - e 低体重児の届出の対象となるのは出生体重 2,000g 未満である。
4. 人工呼吸器の設定で動脈血の二酸化炭素分圧を下げるのはどれか。
  - a 換気回数を増やす。
  - b 一回換気量を減らす。
  - c 吸入酸素濃度を上げる。
  - d 最高気道内圧を下げる。
  - e 持続的気道陽圧法(CPAP)を適用する。
5. 環境基準に規定されている微小粒子状物質(PM 2.5)について正しいのはどれか。
  - a 大気中に浮遊している。
  - b 消化管から血管内へ入る。
  - c 粒子の規定は 2.5μg 以下である。
  - d 工場からの排出が規制されている。
  - e 主成分はディーゼル排気微粒子(DEP)である。
6. 正常皮膚の保湿に最も重要なのはどれか。
  - a 角質層
  - b 顆粒層
  - c 有棘層
  - d 基底層
  - e 乳頭層
7. 食食能がないのはどれか。
  - a 好中球
  - b 樹状細胞
  - c 単球
  - d マクロファージ
  - e リンパ球
8. 交感性眼炎の原因となるのはどれか。
  - a 角膜異物
  - b 涙小管断裂
  - c 穿孔性眼外傷
  - d 眼窩吹き抜け骨折
  - e コンタクトレンズ眼症
9. 顔面神経麻痺、耳介周囲の皮疹、めまい及び難聴を特徴とする疾患はどれか。
  - a 耳下腺癌
  - b Bell 麻痺
  - c 小脳橋角部腫瘍
  - d 真珠腫性中耳炎
  - e Ramsay Hunt 症候群
10. 血管造影検査を行う際、動脈を穿刺し血液の逆流を確認した後、次に用いるのはどれか。
  - a コイル
  - b スtent
  - c バルーン
  - d カテーテル
  - e ガイドワイヤ

## 薬事情報センターだより (324)

## 要指導医薬品

2013 年 12 月 5 日、薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律案が参議院本会議において可決成立しました。この改正薬事法において新たに設けられたのが「要指導医薬品」という新たな医薬品のカテゴリーです。従来、医薬品は、医療用医薬品と一般用医薬品に分類されていました。今回、一般用医薬品の中でスイッチ OTC 薬及びダイレクト OTC 薬であってリスク評価が終了していない品目と劇薬を要指導医薬品という新たなカテゴリーに分類することとされました。要指導医薬品は、「その適正な使用のために薬剤師の対面による情報の提供及び薬学的知見に基づく指導が行われることが必要なものとして、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定する」と定義されています。

一般用医薬品の第一類・第二類医薬品はインターネット販売を厚生労働省令で原則禁止していましたが、2013 年 1 月 11 日に最高裁が下した「省令は違法で無効」とする判決等を踏まえ、一般用医薬品は適切なルールの下で全てインターネット販売を可能とする一方、要指導医薬品というカテゴリーを設け、薬剤師が対面販売により情報提供・指導を行うことを義務付け、インターネット販売を禁止しました。また、スイッチ直後品目等は、安全性調査期間を現在の原則 4 年としていたものを原則 3 年以内に短縮し、安全性調査によるリスクの確定後に、一般用医薬品とした上で、インターネット販売を認めることとされました。なお、医療用医薬品(処方薬)については、従来と同様の取り扱いです。

また、今回の改正においては、要指導医薬品・一般用医薬品等に関する情報提供及び指導等についても規定され、医薬品の適正使用が図られています(下表参照)。

2014 年 1 月 29 日、厚生労働省の薬事・食品衛生審議会要指導・一般用医薬品部会では、ダイレクト OTC のゼリア新薬工業の「プレフェミン」(有効成分：チェストベリー乾燥エキス、効能・効果：月経前症候群の緩和)の初めての要指導医薬品指定が了承され、4 月 4 日の部会では、スイッチ直後 OTC 18 品目、ダイレクト OTC 1 品目及び劇薬指定 5 品目の要指導医薬品指定が了承されました。なお、改正薬事法・薬剤師法の施行は 2014 年 6 月 12 日の予定です。

## 〈参考資料〉

薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律  
(厚生労働省ホームページ)

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/ippanyou/131218-1.htm>)

薬事法及び薬剤師法の一部を改正する法律等の施行等について

(平成 26 年 3 月 10 日薬食発 0310(第 2 号))

お知らせ) 平成 26 年 4 月号で紹介しました「シダ  
トレンスギ花粉舌下液」の薬価収載は、  
当初予定より遅れ、発売は 10 月以降  
となる予定です。

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 改正薬事法で規定された主な情報提供及び指導等(要指導医薬品・一般用医薬品関係)

|                                    | 要指導<br>医薬品 | 一般用医薬品     |            |            |
|------------------------------------|------------|------------|------------|------------|
|                                    |            | 第一類<br>医薬品 | 第二類<br>医薬品 | 第三類<br>医薬品 |
| あらかじめ、使用する者の年齢、他の薬剤または医薬品の使用状況等の確認 | 義務         | 義務         | 努力義務       |            |
| 対面による指導                            | 義務         |            |            |            |
| 情報提供                               | 書面         | 書面         | 努力義務       |            |
| 情報提供・指導ができない場合等の販売・授与の禁止           | 義務         |            |            |            |
| 使用者以外への販売・授与の原則禁止                  | 義務         |            |            |            |
| 販売後の相談応需                           | 義務         | 義務         | 義務         | 義務         |

(一部、適用除外規定あり)

## お知らせ

## 県医師テニス大会(春季)への参加のご案内

平成 26 年度春季県医師テニス大会を下記の日程で行います。  
是非ご参加下さい。  
たくさんの先生方の参加をお待ちしております。

日 時 平成 26 年 6 月 8 日(日曜日) 午前 9 時 30 分開始  
場 所 シーガイアテニスアカデミー TEL 0985-21-1311  
連 絡 先 宮永内科クリニック TEL 0985-62-5556 FAX 0985-62-5557

## 4 月のベストセラー

- |    |                                       |                          |                   |
|----|---------------------------------------|--------------------------|-------------------|
| 1  | 女のいない男たち                              | 村 上 春 樹                  | 文 藝 春 秋           |
| 2  | 村上海賊の娘(上)(下)                          | 和 田 竜                    | 新 潮 社             |
| 3  | 私服だらけの中居正広 増刊号<br>～輝いて～Part4          | 中 居 正 広                  | 扶 桑 社             |
| 4  | 学年じりのギャルが1年で偏差値を40上げて<br>慶應大学に現役合格した話 | 坪 田 信 貴                  | KADOKAWA          |
| 5  | 許す力 大人の流儀4                            | 伊 集 院 静                  | 講 談 社             |
| 6  | 里山資本主義<br>ー日本経済は「安心の原理」で動くー           | 藻 谷 浩 介<br>NHK 広 島 取 材 班 | KADOKAWA          |
| 7  | ニッポンの大問題<br>池上流・情報分析のヒント44            | 池 上 彰                    | 文 藝 春 秋           |
| 8  | 脳内麻薬                                  | 中 野 信 子                  | 幻 冬 舎             |
| 9  | 合本 日本美術がわかる。<br>西洋美術がわかる。             | B R U T U S .<br>特 別 編 集 | マ ガ ジ ン ハ ウ ス     |
| 10 | 長友佑都 体幹トレーニング 20                      | 長 友 佑 都                  | K K ベ ス ト セ ラ ー ズ |

宮協書店本店調べ 提供：宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077



## 都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡協議会

と き 平成 26 年 4 月 1 日(金)

ところ 日本医師会館

横倉日医会長挨拶

日本医師会では一昨年来、「地域医療の再興」を政策テーマに掲げてきた。その第一目標はかかりつけ医を中心とした切れ目のない医療・介護の提供体制を整備していくことである。そのためには、それぞれの地域の住民が安心して医療を受けられるよう、全国画一的な方向性ではなく、個々の医療機関が自主的に担うべき機能を選択するなど、地域の実情にあわせて構築していくべきである。

日本医師会は、昨年 8 月に四病院団体協議会との合同提言をとりまとめるとともに「社会保障審議会医療部会」やその作業グループ、「病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会」等、重要な会議において、医療提供者を代表する立場から、積極的に主張してきた。

いわゆる「医療介護総合確保推進法案」は、2025 年を見据えた将来の医療提供のあり方を考え、達成するための手段といえる。この法案により「協議の場」が設置され、都道府県医師会も重要な構成員として参画することとなっている。また都道府県で定める計画に基づく新たな財政支援制度が導入される。今回の制度改革が日本の将来のために適切に機能するかどうかは、都道府県と都道府県医師会にかかっている。本日は忌憚のない意見を賜るようお願いしたい。

病床機能報告制度、地域医療ビジョンについて

### 1) 日本医師会の方針等の説明

(中川日医副会長)

平成 23 年 7 月の社会保障・税一体改革案で病床機能のあり方が提案されて以降、日医は一貫して自主的な報告制度となることを主張してきた。平成 25 年 8 月には、日本医師会と四病院団体協議会合同で「医療提供体制のあり

方」を発表し、全国画一的な方向性ではなく、地域の実情に合わせて将来の医療提供体制を構築すべきこと等を提案した。

予定では、平成 26 年度中に病床機能報告制度が運用開始し、続いて地域医療ビジョンのガイドラインが策定され、平成 27 年度以降、各都道府県において地域医療ビジョンが策定、医療計画に追記されることとなる。

地域医療ビジョンの実現に向け、都道府県に「協議の場」が設けられる。医師会は、診療に関する学識経験者の団体として「協議の場」に参加し積極的に発言していただきたい。

### 2) 法案及び現在の検討状況等の説明

(土生厚生労働省医政局総務課長)

効率的かつ質の高い医療提供体制の構築のため、プログラム法案(スケジュール)に則り一括法案「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」を国会に提出している。

病床機能報告は一般及び療養病床を対象に「現状」と「今後の方向」を、病棟単位を基本的にレセプト情報等を利用し報告してもらう制度で、具体的な報告の在り方や地域医療ビジョン策定の判断基準等については、これから発表されるガイドライン等で明らかになる予定である。

都道府県知事の権限については、医療機関が過剰な医療機能に転換しようとする場合に要請等を行うものに限られており、最終的には、よりよい医療・介護の提供体制確立のため、関係者が協力してビジョンを策定し、その提供体制に近づけていくことが目的なので、ご理解とご協力をお願いしたい。





全体協議(質疑応答)

Q 地域医療ビジョンと医療計画、また、その他の医療に関係する計画の関連性はどうなるのか。また二次医療圏は、医療交通圏、医療経済圏のほうが良いのでは。

A 地域医療ビジョンは医療計画の一部で、医療計画は 5 年先、ビジョンは長期的 2025 年を見据え、そこに至るまでの計画である。それぞれ根拠法に違いがあるが、二次医療圏と合わせ各都道府県でご検討いただきたい。(厚労省)

Q 病床の変更は経営に大きな影響を与える。具体的な計算方法等、ガイドラインはどのような内容なのか。

A ガイドラインの詳細はこれから。ビジョンは中長期的な予想なので、ある程度、幅を持たせた数値目標になると予想している。(厚労省)

Q 地域医療ビジョンで設定される目標等が、地域住民にとって本当に適正な病床数等になり得るのか。

A まずは報告制度から始まり、地域にとって将来どのような医療体制が良いのか、医療関係者を交えた協議の場で検討してもらいたい。税改革の絡みもあり、タイトなスケジュールとなり申し訳ない。新たな財政支援制度も活用しながら対応していただきたい。(厚労省)

Q 地域医療ビジョンを含め国の医療政策は問題が多い。地域医療ビジョンへの協力は国民を裏切る行為になるのではないかと。知事への権力集中等が心配である。

A 限られた財源の中で、皆保険、フリーアクセスを堅持し、日本の医療の良い点を見失わないようにしたい。ご指導をお願いしたい。(厚労省)

Q 過疎地のケアミックスの場合等の病床機能報告はどのように対応するのか。

A 機能報告は、現状と将来予測を把握することが目的である。報告と違う機能だからといって、医療が行えないという主旨のものではない。(厚労省)

Q 地域医療ビジョンについては、人口から病床を換算すると過疎地の医療環境がさらに劣悪となるのではないかと。

A ある一定の計算方法で、全国一律ということではなく。それぞれの地域の実状を考慮した上で将来推計を行うことが大原則となる。(厚労省)

Q 協議の場での合意形成は本当に可能なのか。

A 色々な立場の方が、将来の地域医療のために議論していただけるような協議会にしたい。是非合意の元に作り上げてもらいたい。(日医)

総 括(中川副会長)

地域医療ビジョンは、平成 3 年(2025 年)を見据え、将来の医療需要、目指すべき医療提供体制、それらを実現するための施策を検討することが目的。皆様のご協力をお願いしたい。

出席者—古賀常任理事、竹崎課長、  
(TV 会議) 稲倉会長、河野・富田副会長、  
立元・池井常任理事、  
鳥井元課長補佐、串間主事

## 医師国保組合だより

## 宮崎県医師国民健康保険組合第110回通常組合会

去る3月14日に第110回通常組合会が開催され、平成26年度の事業計画(案)、平成26年度歳入歳出予算(案)、平成26年度法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)についての3議案が承認されたので、その概略を報告する。

## 1. 報 告

会務について、関係団体の会議等への出席、理事会の開催等についての報告、業務については、被保険者数と異動内容、保険給付状況、保健事業の補助内容について報告した。

## 2. 議案第1号 平成26年度事業計画(案)について

事業計画については、基本的には前年度を踏襲しており、健診費用の一人当たりの限度額を引き上げて、被保険者の健康管理をより一層組合として取り組む。新たに国保組合共通システムを導入して、保険者機能の充実と

と き 平成26年3月14日(金)

ところ 県医師会館 5階会議室

今後の 制度改正等に対応できる Ⅱ 化を推進していく旨説明し、承認を得た。

## 3. 議案第2号 平成26年度歳入歳出予算(案)について

歳入については、保険料が2億9,010万円で、歳入合計の約50%を占め、国庫支出金が13%、繰越金が34%、歳出については、保険給付費が2億4,649万円で42%、後期高齢者支援金等が16%、歳入・歳出合計5億7,615万2,000円の予算(前年度予算比較 0.5%増)について、承認を得た。

## 4. 議案第3号 平成26年度法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)について

平成26年度の実践計画の策定について、原案どおり承認を得た。

※以下、出席組合会議員及び出席役員は下記のとおり。

## 1. 出席組合会議員

1番 市 来 能 成  
3番 内 田 攻  
4番 田 崎 高 伸  
5番 谷 口 二 郎  
6番 玉 置 昇  
7番 原 田 雄 一  
8番 弘 野 修 一  
9番 福 永 隆 幸  
10番 藤 木 浩  
11番 田 中 宏 幸

12番 武 田 信 豊  
13番 出 水 善 文  
14番 野 邊 俊 文  
16番 大 岐 照 彦  
17番 富 田 精 一 郎  
21番 大久保 史 明  
22番 水 野 智 秀  
23番 坂 田 師 隣  
24番 川 西 昭 人  
27番 立 山 洋 司

## 2. 出席理事

理 事 長 秦 喜 八 郎  
副理事長 大 坪 睦 郎  
副理事長 河 野 雅 行  
常務理事 高 橋 政 見  
理 事 石 川 智 信  
理 事 矢 野 裕 士  
理 事 高 村 一 志

## 3. 出席監事

監 事 棚 田 敏 文  
監 事 山 路 健

## 平成 26 年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

( 歳 入 )

(単位：円)

| 款            | 項                  | 金 額         | 構 成 比      |
|--------------|--------------------|-------------|------------|
| 1. 国民健康保険料   | 1. 国 民 健 康 保 険 料   | 290,104,000 | 50.35%     |
| 2. 一 部 負 担 金 | 1. 一 部 負 担 金       | 1,000       | 0.00%      |
| 3. 国 庫 支 出 金 |                    | 77,535,000  | 13.46%     |
|              | 1. 国 庫 負 担 金       | 1,601,000   | ( 2.00% )  |
|              | 2. 国 庫 補 助 金       | 75,934,000  | ( 97.94% ) |
| 4. 前期高齢者交付金  | 1. 前 期 高 齢 者 交 付 金 | 2,000       | 0.00%      |
| 5. 県 支 出 金   | 1. 県 補 助 金         | 2,000       | 0.00%      |
| 6. 共同事業交付金   | 1. 共 同 事 業 交 付 金   | 7,000,000   | 1.21%      |
| 7. 財 産 収 入   | 1. 財 産 運 用 収 入     | 1,300,000   | 0.23%      |
| 8. 繰 入 金     | 1. 繰 入 金           | 5,000       | 0.00%      |
| 9. 繰 越 金     | 1. 繰 越 金           | 200,000,000 | 34.71%     |
| 10. 諸 収 入    |                    | 203,000     | 0.04%      |
|              | 1. 加算金・延滞金及び過怠金    | 1,000       | ( 0.49% )  |
|              | 2. 預 金 利 子         | 130,000     | ( 64.04% ) |
|              | 3. 雑 入             | 72,000      | ( 35.47% ) |
| 歳 入          | 合 計                | 576,152,000 | 100.00%    |

( 歳 出 )

(単位：円)

| 款            | 項                    | 金 額         | 構 成 比      |
|--------------|----------------------|-------------|------------|
| 1. 組 合 会 費   | 1. 組 合 会 費           | 9,300,000   | 1.61%      |
| 2. 総 務 費     | 1. 総 務 管 理 費         | 51,516,000  | 8.94%      |
| 3. 保 険 給 付 費 |                      | 246,492,000 | 42.78%     |
|              | 1. 療 養 諸 費           | 222,850,000 | ( 90.41% ) |
|              | 2. 高 額 療 養 費         | 18,001,000  | ( 7.30% )  |
|              | 3. 移 送 費             | 1,000       | ( 0.00% )  |
|              | 4. 出 産 育 児 諸 費       | 840,000     | ( 0.34% )  |
|              | 5. 葬 祭 諸 費           | 1,500,000   | ( 0.61% )  |
|              | 6. 傷 病 諸 費           | 3,300,000   | ( 1.34% )  |
| 4. 後期高齢者支援金等 | 1. 後 期 高 齢 者 支 援 金 等 | 93,508,000  | 16.23%     |
| 5. 前期高齢者納付金  | 1. 前 期 高 齢 者 納 付 金   | 13,508,000  | 2.34%      |
| 6. 老人保健拠出金   | 1. 老 人 保 健 拠 出 金     | 5,000       | 0.00%      |
| 7. 介 護 納 付 金 | 1. 介 護 納 付 金         | 49,000,000  | 8.50%      |
| 8. 共同事業拠出金   | 1. 共 同 事 業 拠 出 金     | 8,486,000   | 1.47%      |
| 9. 保 健 事 業 費 |                      | 25,810,000  | 4.48%      |
|              | 1. 特定健康診査等事業費        | 2,930,000   | ( 11.35% ) |
|              | 2. 保 健 事 業 費         | 22,880,000  | ( 88.65% ) |
| 10. 積 立 金    | 1. 積 立 金             | 5,000       | 0.00%      |
| 11. 公 債 費    | 1. 一 般 公 債 費         | 1,000       | 0.00%      |
| 12. 諸 支 出 金  | 1. 償還金及び還付加算金        | 2,000       | 0.00%      |
| 13. 予 備 費    | 1. 予 備 費             | 78,519,000  | 13.63%     |
| 歳 出          | 合 計                  | 576,152,000 | 100.00%    |

## 日医インターネットニュースから

### ■「服薬管理は医師の業務」明確化

— 横倉会長 —

日本医師会臨時代議員会が 3 月 30 日開かれ、横倉義武会長は、2014 年度診療報酬改定で新設された「地域包括診療料」と「地域包括診療加算」について「日医が主張してきたかかりつけ医機能の評価に新たな道筋をつくることができた」との認識を示した。その上で算定要件の服薬管理について「医師の業務であるということを明確にした」と強調した。

東京都の近藤太郎代議員の代表質問に応えた。近藤氏は、地域包括診療加算の算定要件について「時間外対応加算 1 もしくは 2 を算定していればよいという点が大きなポイント。地域のかかりつけの医師たちに地域包括ケアに参入してほしいとの厚生労働省のメッセージ」とした。その上で「日医として多くの診療所が地域包括ケアに携わっていくよう働き掛けてほしい」と要請。「多くの診療所がこの加算を届け出ることは、世の中への大きなインパクトになると思う」と述べた。

### ●人頭制等の導入「全く考えていない」

一方、08 年度改定で導入され、その後廃止された後期高齢者診療料と同様、患者と医療機関を 1 対 1 の関係で縛る登録医制につながるのではないかとの疑念が、群馬県医師会の田中義代議員や山口県医師会の吉本正博代議員、北海道医師会の今真人代議員から指摘されたことに対して横倉会長は、「今回は対象 4 疾病に絞られている。その他の疾病は自由に受診できる仕組みだ。後期高齢者診療料の反省を基に制度設計した」と説明し、「厚労省は当初、包括診療料だけを考えていたが、それでは以前のような混乱が起きるということで、地域包括診療加算を設定してもらった。日医の意見を通してもらった」と述べ、加算の設定は日医が強く要望し実現できたと振り返った。

吉本氏も「登録人頭割定額制」に結び付くのではないかとの懸念を表明。今氏も「人頭割・外来

包括化・登録医制」などの導入につながると問題意識を示した。

こうした質問に対し鈴木邦彦常任理事は「日医は、地域包括診療料および地域包括診療加算について、かかりつけ医機能の評価の第一歩として認めた。かかりつけ医機能の評価は、医療提供体制の根幹に関わる重大な問題なので慎重に進めるべき」としたうえで、「日医は人頭制・外来包括化・登録医制などは全く考えていない」と回答した。

(平成 26 年 4 月 1 日)

### ■「同一建物」減算、困難事例の報告を

— 厚労省 —

厚生労働省の保険局医療課と老健局高齢者支援課は 3 月 31 日付で、2014 年度診療報酬改定での同一建物・同一日の複数訪問診療の適正化に関連し、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの集合住宅で、訪問診療の確保が困難な事例が発生した場合、事例報告を求める事務連絡を地方厚生局と都道府県に発出した。

同一建物の複数訪問診療の減算によって、医師が来なくなるとの懸念が高齢者施設側から出ていた。事務連絡は、集合住宅に訪問診療を行う医療機関の確保が難しい事例を把握した場合は、所定の様式により医療課企画法令第一係まで報告することを求めた。

訪問診療を行う医療機関の確保ができない場合、厚労省として日本医師会など関係団体と連携し、地域ごとの実情に応じて地域医師会などから訪問診療を行う医療機関を紹介するなど、適切な在宅医療の確保に取り組むとも記した。

(平成 26 年 4 月 4 日)

### ■ CRS が増加傾向、今年すでに 8 例

— 感染症週報第 12 週 —

国立感染症研究所の感染症週報第 12 週(3 月 17 ~ 23 日)で、「注目すべき感染症」として先天性風疹症候群(CRS)が取り上げられている。CRS は今年に入り、3 月 26 日までに 8 例が報告されている。



12 年以降の 44 例について見ると、都道府県別の報告では東京都 16 例、大阪府 6 例、埼玉県 4 例、神奈川県・兵庫県各 3 例、愛知県・三重県・和歌山県各 2 例—などとなっている。母親の風疹ワクチン接種歴は▽なし 15 例▽不明 20 例▽1 回接種あり 9 例—だった。母親の妊娠中の風疹発症は▽あり 30 例▽不明 10 例▽なし 4 例—となっている。

CRS の 3 徴として知られる白内障・先天性心疾患・難聴については▽先天性心疾患のみ 20 例▽難聴のみ 12 例▽白内障のみ 3 例▽先天性心疾患・難聴の 2 徴合併 3 例▽白内障・先天性心疾患・難聴の 3 徴合併 1 例—となっている。

他の症状が認められた例は▽紫斑 19 例▽生後 24 時間以内に出現した黄疸 10 例▽脾腫 9 例▽小頭症 4 例▽色素性網膜症 3 例▽エックス線透過性の骨病変 3 例▽精神発達遅滞 1 例—だった(重複含む)。(平成 26 年 4 月 8 日)

## ■選択療養に否定的な意見相次ぐ

### — 自民の国民医療懇、日医が出席 —

自民党の国会議員による「国民医療懇談会」は 4 月 15 日、政府の規制改革会議が提案した新たな保険外併用療養の仕組み「選択療養」について、日本医師会の役員と意見交換した。日医側は、有効性や安全性を確認するための仕組みが不明確であることや、患者と医師の間に情報の非対称性が存在することなどから選択療養への懸念を示した。出席した自民党議員からも否定的な意見が相次いだ。

選択療養は、医師と患者が合意し、書面で契約するなど一定の手続きを行えば、保険適用外の医療行為と保険診療を組み合わせて実施でき

るようにする仕組み。ただ、規制改革会議がこの仕組みを打ち出して以降、保険者や患者団体、与党議員など各方面から反対の声が上がっている。

健保連などの保険者は、患者と医師が合意すれば混合診療が原則可能となるため、実質的に有効性・安全性の確認が不十分な医療を広く患者に提供し、健康上の不利益をもたらす可能性があるなどと反対の意向を表明。日本難病・疾病団体協議会も、事実上の混合診療の解禁に当たり、多くの患者が最先端医療を受けられなくなる恐れがあると訴えている。自民党「社会保障制度に関する特命委員会」の役員会でも批判的な意見が多かった。

15 日の意見交換では、保険外診療と保険診療の併用範囲拡充を求めるニーズには、現行の保険外併用療養費制度をより改善することで対応すべきという声や、有効性・安全性が疑わしい治療法は、別に枠組みを設けて規制すべきという意見が出たという。

同委員会や同党厚生労働部会の幹部以外の議員に、選択療養への懸念の理解が広がっていないという声や、選択療養に反対するだけでなく、なぜ反対なのか理論立てて理解してもらう必要があるとの指摘もあった。

選択療養以外には、医療分野で具体的にどう情報通信技術を活用するかなどが話題に上ったという。

この日の会合には、自民党の▽鴨下一郎氏▽武見敬三氏▽上川陽子氏▽福岡資麿氏らが出席。日医からは横倉義武会長ら全役員(13 人)が出席した。(平成 26 年 4 月 18 日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

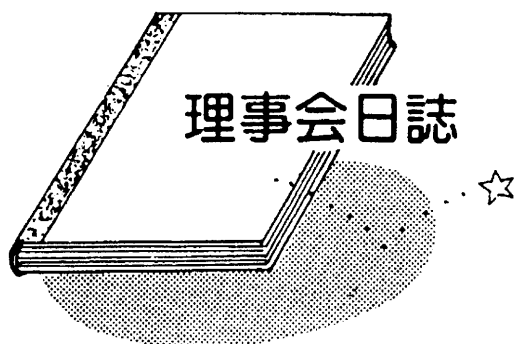
日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック  
メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID : 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10 桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード : 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力  
例) 196 年 5 月 1 日生まれの場合、610501



平成 26 年 3 月 11 日(火) 第 2 回理事会

医師会関係  
(議決事項)

1. 平成 26 年度宮崎県医師会事業計画に関する件  
立元常任理事から、定款第 6 条に「本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない」と規定されていることから、本理事会に事業計画を提出するとの説明があり、資料を基に重点項目及び新規項目等の確認が行われ、審議の結果、出席者全員の賛成をもって原案通り可決承認された。
2. 平成 26 年度宮崎県医師会暫定収支予算に関する件  
吉田常任理事から、来年度は任期満了に伴う役員改選が行われるため平成 26 年 4 月 1 日～7 月 31 日の 4 か月を対象とする暫定予算を作成。経常収益 1 億 3,126 万円、経常費用 1 億 2,273 万 4 千円、経常増減額がプラス 852 万 6 千円である旨の説明が行われ、審議の結果、出席者全員の賛成をもって原案通り可決承認された。
3. 平成 26 年度宮崎県医師会収支予算に関する件  
吉田常任理事から、法人法第 22 条第 1 項の

規程に基づき、3 月末日迄に県に報告する必要があるため、平成 26 年度の通年予算を作成。経常収益計 4 億 1,003 万 2 千円、経常費用計 3 億 8,872 万 5 千円、当期経常増減額はプラス 2,130 万 7 千円を見込んでおり、資金ベースでは、減価償却、長期借入金返済支出等を勘案した結果、489 万 7 千円増となる。また、公益目的事業の費用は 2 億 6,485 万 7 千円で、公益目的事業比率は 68.13%となり条件の 50%をクリアし、収支相償についても、収益事業の経常増減額 3,330 万円の約 50%を公益に充当しても公益事業はマイナスとなるため条件を充たす等の説明が行われ、審議の結果、出席者全員の賛成をもって、原案通り可決承認された。

また、長期借入金に関して、吉田常任理事から、貸借対照表と近年の流動資産の動向を勘案し、会館建設協力債 1 億円の繰上償還を行うことが提案され、重ねて承認された。

4. 第 159 回宮崎県医師会臨時代議員会の開催に関する件

立元常任理事から、本年は役員の任期が満了を迎えることから、定款第 24 条、選挙細則の第 3 条等の規定に則り、平成 26 年 5 月 27 日(火)に臨時代議員会を開催し、役員選挙を行うことを提案するとの説明があり、審議の結果、出席者全員の賛成をもって原案通り可決承認された。

5. 第 160 回宮崎県医師会定例代議員会の開催に関する件

立元常任理事から、過去の開催実績や関係団体の諸会議の状況等を勘案した上で、平成 26 年 6 月 21 日(土)に収支決算等を主な議題とする定例代議員会及び総会等の諸行事を開催したい。定款第 39 条の規定により、この代議員会の終結をもって、現行役員の任期は満了となるとの説明があり、審議の結果、出席者全

員の賛成をもって原案通り可決承認された。

#### 6. 諸規程の変更に關する件

- 宮崎県医学会会則の一部改正について
- 宮崎県医師会委員会規程の一部改正について
- 宮崎県医師会会館使用規程の一部改正について
- 宮崎県医師会名誉会員内規の一部改正について
- 宮崎県医師会表彰並びに慶弔に関する内規の一部改正について
- 宮崎県医師会医学賞に関する規程の一部改正について
- 宮崎県医師会議事細則の一部改正について
- 宮崎県医師会医事紛争対策・処理委員会規則の一部改正について
- 宮崎県医師会裁定委員会規程の一部改正について
- 宮崎県医師会会費賦課徴収規程の一部変更について

立元常任理事から、平成 20 年度に定款・諸規程検討委員会を設置して以降、平成 24 年 4 月 1 日の公益社団法人への移行をはさみ、継続して関係諸規程の検討を行っていたが、平成 26 年 2 月 6 日、諸規程検討委員会の最終答申を受け、一連の変更案が出揃った。宮崎県医学会会則、宮崎県医師会議事細則、裁定委員会規程、会費賦課徴収規程については、理事会の承認を得た上で代議員会に上程、その他の規程は本理事会の議決をもって最終承認になるとの説明があり、審議の結果、規程毎の概略及び意見を確認した上で、出席者全員の賛成をもって原案通り可決承認された。

#### (協議事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について

→任期満了に伴う嘱託医の推薦依頼で、県本庁嘱託医 2 名と郡部福祉事務所精神科嘱託医 5 名の計 7 名について、再任の意向が確認できたことから、引き続き嘱託医をお願いすることが承認された。

#### ②暴力被害者等に対する医学的な指導のための医師の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、再任の方向で現行委員の意向を確認した上で、推薦を行うことが承認された。

#### 2. 3 / 30 (日) (日医)九州医師会連合会臨時常任委員会の開催について

日医臨時代議員会に先立ち開催される九州ブロック日医代議員会の前に、急遽開催される臨時の常任委員会で、稲倉会長が出席することが承認された。

#### 3. 地域医療ビジョン及び新たな財政支援制度(基金)担当役員等について

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案」により導入される新たな制度については、今後、活発な議論の展開が予想されるため、都道府県医師会における担当役員等の確認依頼があり、地域医療ビジョンは富田副会長、新たな財政支援制度(基金)の医療は古賀常任理事、介護は会長一任とすることが承認された。

#### (報告事項)

- 1. 週間報告について
- 2. 3 / 10 (月) (宮大医学部)宮大研修管理委員会について
- 3. 3 / 11 (火) (県医)産業保健推進連絡事務所運営協議会について
- 4. 3 / 5 (水) (日医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会について
- 5. 3 / 8 (土) (MRT)日医テレビふれあい健康ネットワーク収録について

6. 3 /2(日)(福岡)レジナビフェアについて
7. 3 /10(明)(県医)宮大病院医療連携ネットワーク構築説明会について
8. 3 /8(土)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・全体研修会について
9. 3 /10(明)(県庁)県准看護師試験委員会について
10. 3 /8(土)(宮観ホテル)病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会について
11. 2 /2(木)(県医)医学会誌編集委員会について
12. 3 /1(土)(宮観ホテル)勤務医部会理事会・後期講演会について
13. 3 /7(金)(県医)麻しん対策会議について
14. 3 /7(金)(県医)予防接種広域化意見交換会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 3 /23(日)(ニューウェルシティ宮崎)民主党宮崎県総支部連合会 2014 年度県連大会のご案内について  
関係団体の諸行事と重複しており、役員及び事務局も対応できないことから、今回は欠席することが承認された。
2. 「自民党青年局と日医連との意見交換会」の開催について  
若手医師連盟会員と自民党若手議員が交流を図り、相互理解の信頼関係を構築することを目的に、都道府県医師連盟に対し 50 歳未満の若手会員 2 名の選出を依頼するもので、郡市医師連盟に照会することが承認された。

平成 26 年 3 月 18 日(火)第 30 回常任理事協議会

常任理事協議会の開会に先立ち、県福祉保健部医療業務課の小田課長補佐、坂本副主幹、早川主査が来会し、新しく設置する「県立看護大学あり

方検討委員会」について、目的及び委員構成等の概略説明を行った。

これに対し県医師会役員から、費用対効果を考慮し県内就職率の向上に向け積極的に取り組むべきとの意見や外部委員を招いての検討のみではなく内部で具体策を検討すべきとの要望が出された。

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ① 県立看護大学あり方検討委員会について  
→「地域に根ざす大学」として、教育・研究レベルの向上や地域貢献の充実等、改革実現のために大学の在り方等を検討することを目的に設置される委員会で、稲倉会長を委員に推薦することが承認された。

#### 2. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 2014 年度「在宅を支える多職種交流会」名義後援のお願いについて  
→「豊かな人生の最期のために～エンディングノート(私の最期の意思表示)の活用～」をテーマに、在宅医療・在宅ケアを支える職種の方々を対象に開催される交流会で、名義後援を行うことが承認された。
- ② 5 /31(土)(宮崎市民文化ホール)名義後援申請のお願いについて  
→「いのち輝かせて～あなたの命が輝くために、愛とは・性とは・生きるとは～」と題して開催される講演会で、目的及び開催趣旨等は充分賛同できるが、主催団体の情報等が不足しているため、他の後援状況等の情報を入手した上で、改めて検討することとなった。
- ③ 映画「ペコロスの母に会いに行く」の推薦文のご依頼について  
→認知症になった母と暮らす息子の日常を舞台に、ユーモラスかつ切なく描いた映画で、日本医師会、文部科学省、認知症の人



- と家族の会等の推薦も受けていることから、推薦することが承認された。
3. 4 /1~~土~~(湯布院)九州医師会連合会第 339 回常任委員会の開催について

公益法人制度改革の影響で担当期間が延長されたこともあり、沖縄県医師会の担当で、大分県の湯布院に於いて開催される常任委員会で、稲倉会長が出席されることが承認された。なお提出議題等については、稲倉会長に一任することとなった。

4. 平成 26 年度広域予防接種業務委託契約について

予防接種対象者が圏域を超えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、平成 25 年度と同額(消費税分は 5 % から 8 % ヘアアップ)の県内統一料金で契約を締結することが承認された。

なお、県が発出したモデル契約例の鑑文書にある「モデル契約書第 8 条(災害補償)」の注意書きは、誤解を招く可能性もあるので意図を確認することとなった。

5. 4 /1~~金~~(日医)都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡協議会の開催について

医療法改正に伴う病床機能報告制度及び地域医療ビジョンの情報提供等を目的に開催される連絡協議会で、古賀常任理事の出席とテレビ会議システムを利用して富田副会長及び立元常任理事が参加することが承認された。

6. 産業医ご紹介のお願いについて

通常であれば郡市医師会に人選をお願い対応するところではあるが、県医師協同組合との関係もあり、常任理事協議会に提案されたもので、牛谷常任理事を産業医として紹介することが承認された。

(報告事項)

1. 3 /1~~木~~(県医)各郡市医師会社会保険担当理事連絡協議会について

2. 3 /1~~木~~(日医)日医諸規程検討委員会について
3. 3 /1~~土~~(県医)臨床検査精度管理調査に基づく勉強会について
4. 3 /1~~金~~(県庁)県周産期医療協議会について
5. 3 /1~~日~~(県医)県医緩和ケアチーム研修会について
6. 3 /1~~木~~(宮崎市)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
7. 3 /1~~月~~(宮観ホテル)県産業保健連絡協議会等について
8. 3 /1~~木~~(日医)都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会について
9. 3 /1~~火~~(県医)治験理事会について
10. 3 /1~~木~~(日医)日医医療政策シンポジウムについて

平成 26 年 3 月 25 日(火)第 3 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
- ① 児童扶養手当の支給に関する障害判定嘱託医の推薦について
- 任期満了に伴う推薦依頼で、精神障害、肢体不自由障害、内部障害の 3 名の嘱託医について、再任の方向で現職の先生方の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について
- ① 認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援申請について
- コメディカルを対象に、宮崎県のスポーツ振興と健康管理等に当たるスタッフの養成を目的に実施される講習会で、名義後援を行うことが承認された。
3. 宮崎県医師会役員等の選挙について
- 任期満了に伴う役員選挙のスケジュール等



を確認すると共に県医師会定款第 33 条及び選挙細則第 3 条等の規定により、各郡市医師会長宛てに発出する文書の確認が行われた。

4. 4 / 25(日医)都道府県医師会新たな財政支援制度担当理事連絡協議会の開催について  
医療・介護サービスの提供体制改革を推進するために創設された財政支援制度に関する担当理事者会で、所用のため牛谷常任理事が出席できないことから、吉田常任理事が出席し、古賀常任理事はテレビ会議で参加することが承認された。また役員で参加希望がある場合は事務局まで申し出ることとなった。

5. 4・5 月の行事予定について

4 月の追加行事と 5 月の行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 3 / 12(支)基金)支払基金幹事会について
2. 3 / 14(県医)県アイバンク協会理事会について
3. 3 / 18(日医)日医理事会について
4. 3 / 25(県庁)県地域医療支援機構代表者会議について
5. 3 / 19(県医)日医有床診療所等の防火対策に関する説明会について
6. 3 / 25(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
7. 3 / 20(県庁)県母子保健運営協議会について
8. 3 / 19(県庁)県防災会議について
9. 3 / 24(県庁)県訪問看護推進協議会について
10. 3 / 24(県庁)県歯科保健推進協議会について

医師連盟関係

(協議事項)

1. 日医連負担金の賦課徴収について

既に日医連の執行委員会で決定後、県医師連盟に対し徴収委託されているもので、昨年

と同様、5 月と 10 月に徴収することが承認された。

2. 県医連会費の賦課徴収について

昨年と同様、年額 A 会員 12,000 円、B 会員 1,000 円を賦課し、5 月に徴収することが承認された。

3. 県医連収入支出予算について

若手医師を中心とした各郡市医師連盟医政活動活性化事業を新たに加え、事業活動収益 3,169 万 9 千円、事業活動支出 3,215 万円の事業年度収支均衡を意識した予算が提案され承認された。

#### 平成 26 年 4 月 1 日(火)第 1 回常任理事協議会

常任理事協議会の開会に先立ち、県福祉保健部健康増進課の滝口課長(新任)、永野補佐、感染症対策室の片平室長、齊藤副主幹、大野技師が来会し、「風しん抗体検査事業」の説明が行われた。

これに対し県医師会役員から、現実的には抗体価は一度のワクチン接種では抗体価が上がらないこともあるので、抗体検査の補助ではなく、検査せずともワクチン接種ができる補助をお願いしたいとの依頼が行われた。県からは、国の事業では抗体検査の費用しかみておらず、現状では難しいことが説明された。

これに対し、この風しん抗体検査事業を実施することについては了承するが、今後は国の方針から一歩踏み出して欲しい。抗体検査を実施する方は少ないとの予想もあり、国へもデータの収集後に報告して、抗体検査ではなく、ワクチン接種をするように求めて欲しいと依頼された。また、この事業の実施医療機関の募集については、県医師会を通して実施していくこととなった。

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県准看護師試験委員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、3名の嘱託医について、再任の方向で現職の先生方の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。

②宮崎県不妊に悩む方への特定治療支援事業協議会委員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、2名の委員について、再任の方向で現職の先生方の意向を確認し、推薦を行うことが承認された。

③日南市立中部病院経営健全化検討委員会の委員推薦について

→新しく検討委員会を立ち上げるとのこと  
で、清山知憲医師(県議会議員)を推薦することが承認された。

2. 4 /24(木)～25(金)(東京)世界医師会東京理事会について

世界医師会東京理事会への招待であり、本会から1名推薦があった。希望者があれば事務局に申し出ていただくこととなった。稲倉会長は日医理事として別途案内が来ている。

3. 新たな財政支援制度について

国の財政支援制度について、各都市医師会、病院部会、二次救急指定医療機関から要望が提出されており、持ち帰り検討の上、意見があれば事務局にお願いしたい。また、来週の常任理事会協議会で再度協議を行い、とりまとめて県に提出することとなった。

4. 第2回日本医師会在宅医療支援フォーラム「平成26年度在宅医療支援のための医師研修会」の開催について

昨年に引き続き医師研修会が開催される案内であり、今回は、地域包括ケアシステムについて地域医師会の役割をテーマとして開催される。既に、各都市医師会にリーダーとなられる方を推薦してもらうように依頼しており、参加費用についても県の委託事業の中から補助が行えることとなっている。本会から

の出席者は、各都市からの出席者を見て検討することとなった。

(報告事項)

1. 3月末日現在の会員数について

2. 3 /28(金)(宮大)宮大経営協議会・学長選考会議について

3. 3 /30(日)(日医)九医連臨時常任委員会について

4. 3 /30(日)(日医)日医臨時代議員会について

5. 3 /26(木)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

6. 3 /26(木)(県庁)県メディカルコントロール協議会について

7. 3 /26(木)(県庁)東九州メディカルバレー構想県推進会議について

8. 3 /27(金)(県医)学術生涯教育委員会について

9. 3 /29(土)(東京)全医秘協常任委員会・運営委員会について

10 4 /1(火)(県医)治験審査委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 自由民主党宮崎県支部定期大会代議員名簿提出について

例年名簿の提出を行っており、前年度に引き続きメンバーを推薦することとなった。

2. その他

①「自民党青年局と日医連との意見交換会」の開催について(再協議)

→3 /11の県医連役員会で各都市医師連盟に推薦依頼することとなっていたが、清山知憲先生(県議会議員)の他に宮崎市の藤木内科外科クリニックの藤木 玲先生を推薦することが承認された。

## 平成 26 年 4 月 8 日(火)第 2 回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

## 1. 本会外の役員等の推薦について

## ①宮崎県健康づくり推進協議会委員の推薦について

→県民の健康づくりを計画的、効果的に推進するための基本方針や施策を検討するために設置されている協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長を推薦することが承認された。

## ②宮崎県地域・職域連携推進協議部会の委員任期満了に伴う推薦について

→県健康づくり推進協議会の部会であり、地域保健と職域保健の連係を重視した予防面を検討するために設置されている部会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き古賀常任理事を推薦することが承認された。

## ③たばこ対策検討会委員の推薦について

→未成年者の喫煙防止、受動喫煙防止及び禁煙支援について検討するために設置されている検討会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、再任の方向で吉田常任理事の意向を確認の上推薦を行うことが承認された。

## ④宮崎県寝たきり予防推進本部の委員推薦及び就任について

→生活習慣病から寝たきりになることを予防するために設置されている組織で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

## ⑤介護給付費審査委員会サービス担当者代表委員の推薦について

→介護給付費請求書の適正なる審査に資するために設置されている審査委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

## ⑥宮崎市不妊に悩む方への特定治療支援事業

## 評価委員会の委員推薦について

→この委員会は特定不妊治療助成事業の適正かつ円滑な実施に努めるために設置されている評価委員会である。県不妊に悩む方への特定治療支援事業協議会と同時開催されるとのことで、県医師会には初めての推薦依頼であり、県の委員でもある濱田常任理事と県産婦人科医会の推薦の肥後貴史先生を推薦することが承認された。

## 2. 平成 26 年度県立学校健康管理医報酬額について

県立学校教職員の健康管理医の報酬額について、学校医ではなく産業医としての報酬額で前年度と同額での依頼であり、承諾することになった。

## 3. 新たな財政支援制度について

各都市医師会等から新たな事業提案が提出されたものを、県医師会として概要と効果の分析、区分の改廃と統合等を行い、新規事業として 20 の要望にとりまとめた。各都道府県からの新たな提案や国の対象事業が変更になる可能性があり、各団体から提出された貴重な意見でもあることから、全ての事業を県へ提案することとなった。

また、継続事業については、医師会立看護師等養成所運営費補助金の増額または運営強化事業の新設。病院内保育所運営費補助金については、補助基準を見直し補助金の増額。産科医等確保支援事業は、現在、国の 1/3 の支出分だけで運営しており県の負担がないが、新制度に移り県の負担がでてきても、現在の事業総額の維持を要望。その他は、現状維持で要望することとなった。

まだ、この制度自体が固まっていないので、今後、日医の説明会などを聞きながら、県と継続して交渉を行い、調整していくこととなった。

## 4. ヒポクラテスの木について

医学の父、ヒポクラテスの生地ギリシャ・コス島にあるプラタナスに由来しており、この木の下でヒポクラテスが講義を行ったという伝説が受け継がれており、コス島の種から育てた東京日赤医療センターの苗木から、1980年に宮崎県医師会、宮崎市郡医師会、宮崎医科大学に譲渡・植樹されていたが、県医のヒポクラテスの木が現在は枯れており、新会館建設の際に記念碑だけを移設している。現在の宮大医学部のヒポクラテスの木の枝から、宮大農学部の中尾教授に依頼して、差し木して苗木を育成中であり、順調に育てば今秋に県医師会敷地内に植栽することを承認することとなった。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4 /5 (土) (宮観ホテル) 宮崎市郡医師会病院創立 30 周年記念式典について
3. 4 /7 (月) (宮観ホテル) 宮崎政経懇話会について

## 医師連盟関係

(議決事項)

1. TPP 交渉！反対みやざき県民緊急集会の名義後援について

TPP 交渉が 2 月の閣僚会合で大筋合意に至らなかったものの、4 月下旬のオバマ大統領来日に向け予断を許さない厳しい局面であり、なし崩しの譲歩とならないように県民集会を開催するとのことであり、名義後援を行うことが承認された。

2. TPP 交渉！反対みやざき県民緊急集会開催について

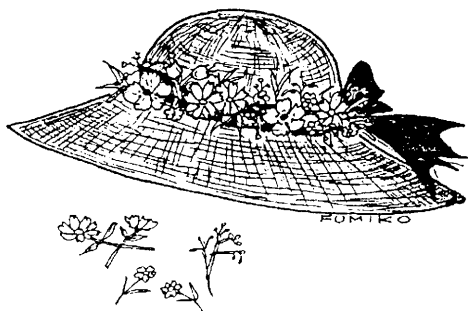
4 /19 (土) 10:00~12:30 までの県民集会・デモへの出席要請であり、診療時間なので、事務局の対応とすることが承認された。

3. 参議院議員長峯誠政経セミナーパーティー券購入について

6 /1 (日) 14:00 (宮崎市) 政経セミナーのパーティー券の購入依頼であり、購入することが承認された。

## お知らせ

## カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒 880-0023

宮崎市和知川原 1 丁目 101

genko@m-iyazakim-ed.or.jp



## 追悼のことば

都城市北諸県郡医師会

宇宿不<sup>う</sup>二<sup>すく</sup>夫<sup>ふ</sup>先生<sup>しお</sup>

(大正15年11月23日生 88歳)

弔 辞

本日ここに、故 宇宿不二夫先生のご葬儀が執り行なわれるにあたり、先生のご霊前に都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、心より謹んでお別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をされてこられました。

先生は、数年前前にご病気をされ、ご自宅にてご静養されておりましたが、4日程前に発熱され、奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、去る4月6日の午後4時2分に帰らぬ人となりました。突然の訃報で、私は、にわかには信じられず、ただただ驚くほかありませんでした。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、奥様をはじめ、ご家族、ご遺族の皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げます。私共医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、大正15年11月23日、4人兄弟の長男として、地元都城市にお生まれになりました。長じて医学の道を志し、昭和2年に鹿児島県立鹿児島医学専門学校をご卒業され、国立都城病院にて実地修練を積まれ、医師としてのスタートをきられました。その後も、昭和28年から昭和50年までの22年間国立都城病院に勤務、昭和5年からは医療法人敬和会戸嶋病院に勤務され研鑽をつまれました。昭和36年には医学博士の学位も取得されておられます。

昭和6年には地域医療に貢献されるべく、都城市栄町に「宇宿医院」を開業されました。以来、今日まで、2年にわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上にご尽力されてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会裁定委員を平成8年から18年もの永きにわたりお引受けいただきました。また、都城市北諸県郡医師会内科医会におきましては、内科医会副会長を平成2年から6年間、その後、引き続き、内科医会監事を6年間お引受けいただき多大なるご尽力をいただきました。

先生は、看護師の養成にも積極的に取り組み、都城看護専門学校の講師を17年間務められました。

また、都城工業高等専門学校の学校医を昭和5年から30年間の永きにわたり務められ、生徒の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組みられました。これらのご功績に対し、平成9年に学校保健功勞として、都城市教育長表彰、平成21年に宮崎県教育長表彰を受賞されておられます。

先生は、お子様がお二人おられますが、ご長男の修隆先生が医師としてすでにご活躍中であり、先生の後継者として立派にご意志を継いで地域医療に取り組みまれておられ、現在、当医師会公衆衛生担当理事としてご尽力いただいておりますので、先生もさぞかしご安心のことと申します。

一方、診療を離れると先生は多趣味で、若いころはゴルフ、囲碁、模型作りをよくされていたと伺っております。最近では読書がお好きでジャンルを問わず様々な書物をお読みになっていたと聞いております。また、非常に温厚で患者さんや自院の職員さんにも優しく接してこられたとも伺っております。

宇宿不二夫先生、惜別の情、尽くし得ませんが、ここに謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、先生がこれまで地域医療に傾けられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

平成26年4月8日

一般社団法人

都城市北諸県郡医師会

会長 飯田 正 幸



# 県 医 の 動 き

(4月)

|    |                                                                                                        |    |                                                                                                                                                                              |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第1回常任理事協議会(会長他)                                                                     | 19 | TPPから「食と暮らし・いのち」を守るみやざき<br>県民緊急集会(事務局)<br>九医国保連事務引継(秦理事長他)                                                                                                                   |
| 4  | 県産婦人科医会会計監査(濱田常任理事)                                                                                    | 20 | 県小児科医会総会・学術講演会(高村理事)                                                                                                                                                         |
| 5  | 宮崎市郡医師会病院創立30周年記念式典(会長)                                                                                | 21 | 広報委員会(荒木常任理事他)<br>県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会<br>(金丸常任理事)                                                                                                                            |
| 7  | 宮崎政経懇話会(会長)                                                                                            | 22 | 医協理事・運営委員合同協議会(会長他)<br>地域医療現場における働きやすい環境を考える<br>会検討会(荒木常任理事)<br>医協理事会(会長他)<br>第1回全理事協議会(会長他)<br>新研修医保険診療等説明会及び祝賀会(会長他)                                                       |
| 8  | 第2回常任理事協議会(会長他)                                                                                        | 23 | 全国医師国保組合連合会代表者会(東京)<br>(秦理事長)<br>医家芸術展世話人会(河野副会長他)                                                                                                                           |
| 9  | 支払基金幹事会(会長)                                                                                            | 24 | 西都市西児湯医師会臨時総会(西都)<br>延岡市医師会臨時総会(延岡)                                                                                                                                          |
| 10 | 県産婦人科医会全理事会                                                                                            | 25 | 都道府県医師会新たな財政支援制度担当理事<br>連絡協議会(日医)(吉田常任理事他)<br>都道府県医師会新たな財政支援制度担当理事<br>連絡協議会(TV会議参加)(会長他)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>(河野副会長)<br>南那珂医師会臨時総会(南那珂)<br>世界医師会東京理事会晚餐会(東京)<br>(吉田常任理事) |
| 11 | 都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡<br>協議会(日医)(古賀常任理事)<br>都道府県医師会地域医療ビジョン担当理事連絡<br>協議会(TV会議参加)(会長他)<br>広報委員会(富田副会長他) | 26 | 県産婦人科医会春期総会                                                                                                                                                                  |
| 12 | 県と女性医師との意見交換会(荒木常任理事)<br>日向市東臼杵郡医師会臨時総会(日向)<br>九医連常任委員会(大分)(会長)                                        | 28 | 医師国保組合理事会(秦理事長他)                                                                                                                                                             |
| 14 | 県臨床研修運営協議会(会長他)<br>県警察医会協議会                                                                            | 30 | 労災診療指導委員会(河野副会長他)<br>県立看護大学あり方検討委員会(会長)                                                                                                                                      |
| 15 | 日医理事会(日医)(会長)<br>医協打合会(立元常任理事)<br>第3回常任理事協議会(河野副会長他)                                                   |    |                                                                                                                                                                              |
| 16 | 宮崎市郡医師会臨時総会                                                                                            |    |                                                                                                                                                                              |
| 17 | 児湯医師会臨時総会(児湯)<br>保険医療機関の指導計画等打合会(会長他)                                                                  |    |                                                                                                                                                                              |
| 18 | 県外科医会会計監査<br>県外科医会理事・評議員会                                                                              |    |                                                                                                                                                                              |

団体所得保障保険

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 26 年 4 月 14 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5 人

#### 1) 男性医師求職登録数 4 人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 内 科    | 3   | 3  | 0   |
| 外 科    | 1   | 1  | 0   |

#### 2) 女性医師求職登録数 1 人

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 内 科    | 1   | 1  | 0   |

### 2. 斡旋成立件数 47 人

|              | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|--------------|------|------|-----|
| 平成 25 年 度    | 0    | 0    | 0   |
| 平成 16 年度から累計 | 34   | 13   | 47  |

### 3. 求人登録 79 件 327 人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常勤  | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 98  | 73  | 25  |
| 外 科        | 37  | 29  | 8   |
| 整 形 外 科    | 27  | 22  | 5   |
| 精 神 科      | 15  | 13  | 2   |
| 循 環 器 科    | 9   | 9   | —   |
| 脳 神 経 外 科  | 10  | 8   | 2   |
| 消 化 器 内 科  | 14  | 11  | 3   |
| 麻 酔 科      | 13  | 9   | 4   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放 射 線 科    | 10  | 8   | 2   |
| 小 児 科      | 4   | 3   | 1   |
| 呼 吸 器 内 科  | 14  | 13  | 1   |
| リハビリテーション科 | 4   | 4   | —   |
| 総合診療科・内科   | 4   | 3   | 1   |
| 神 経 内 科    | 7   | 6   | 1   |
| 救 命 救 急 科  | 6   | 6   | —   |
| 健 診        | 7   | 3   | 4   |
| 産 婦 人 科    | 3   | 3   | —   |
| 泌 尿 器 科    | 1   | —   | 1   |
| 検 診        | 2   | —   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人 工 透 析    | 2   | 2   | —   |
| 在 宅 担 当 医  | 1   | 1   | —   |
| そ の 他      | 30  | 23  | 7   |
| 合 計        | 327 | 256 | 71  |

## 求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                             | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------------|-------|---------------------------------------|-----|---------|
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮 崎 市 | 検診                                    | 2   | 非常勤     |
| 160013 | 医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外, 整, 放, 麻, 内                        | 10  | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医)プレストピア プレストピアなんば病院      | 宮 崎 市 | 乳外, 内, 麻                              | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精, 内                                  | 2   | 常勤      |
| 160031 | 社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼, 神内, 眼, 総診, 呼外,<br>臨病, 乳外, 整外, 麻酔   | 11  | 常勤      |
| 160033 | 医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                                     | 2   | 常勤      |
| 170046 | 医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内, 内分泌内, 呼, リウマチ,<br>神経内, 健診         | 6   | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内, 放, 在宅医療                            | 3   | 常勤      |
| 170052 | 医)春光会                     | 宮 崎 市 | 外, 内                                  | 6   | 常勤・非常勤  |
| 180061 | 医)あいクリニック                 | 宮 崎 市 | 精                                     | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内, 神内, 整                              | 6   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内, 呼内                                | 6   | 常勤      |
| 190094 | 医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 整                               | 8   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                                     | 1   | 常勤      |
| 190096 | 医)晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮 崎 市 | 消化, 麻, 循, リハビリ                        | 5   | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人                      | 7   | 常勤      |
| 200105 | 医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 放                               | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                                     | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮 崎 市 | 内, 外, 整                               | 12  | 常勤・非常勤  |
| 230128 | 医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内, 精                                  | 2   | 常勤      |
| 230132 | 医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 常勤      |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき        | 国 富 町 | 内, 外                                  | 2   | 常勤      |
| 230140 | 医)将優会 クリニックうしたに           | 宮 崎 市 | 外, 内, 整, 家庭医, 総合臨床                    | 1   | 常勤      |
| 230141 | 医)博愛社 佐土原病院               | 宮 崎 市 | 内                                     | 1   | 非常勤     |
| 230143 | 医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外, 内                                 | 2   | 常勤      |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 総内, 呼吸内, 消化器内,<br>健診                  | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230146 | 財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内, 神内, 外, 整外, 脳外,<br>リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア | 10  | 常勤      |
| 230148 | 医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外, 形成外, 外, 麻酔                        | 8   | 常勤・非常勤  |
| 160008 | 医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                                     | 1   | 非常勤     |
| 160010 | 特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内, 消内, 整, 神内                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160018 | 医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内, 救急, 放射, 脳外, 外,<br>眼, 透内, 皮膚        | 8   | 常勤      |
| 170057 | 医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内, 外, 整                               | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城病院                | 都 城 市 | 消内, 内, 呼内, 総合内                        | 4   | 常勤      |
| 180081 | 医)恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                                     | 1   | 常勤      |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都 城 市 | 内, 呼                                  | 6   | 常勤      |

| 登録番号   | 施 設 名           | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                      | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|-----------------|-------|--------------------------------|-----|---------|
| 210114 | 藤元総合病院          | 都 城 市 | 精                              | 2   | 常勤      |
| 230127 | 医)倫生会 三州病院      | 都 城 市 | 外, 内, 麻                        | 9   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑   | 都 城 市 | 不問                             | 1   | 常勤      |
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科     | 都 城 市 | 内                              | 1   | 常勤      |
| 230142 | 医)魁成会 宮永病院      | 都 城 市 | 内, リハビリ                        | 2   | 常勤      |
| 230150 | 医)与州会 ウェルネス苑都城  | 都 城 市 | 不問                             | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230153 | 都城健康サービスセンター    | 都 城 市 | 放, 消内, 消外, 健診                  | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230157 | 医)一誠会 都城新生病院    | 都 城 市 | 精, 内                           | 4   | 常勤・非常勤  |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院      | 延 岡 市 | 外, 整, 皮, 放, 内, 消外              | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院      | 延 岡 市 | 精                              | 2   | 常勤      |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院     | 延 岡 市 | 外, 内, 緩ケア                      | 6   | 常勤・非常勤  |
| 160036 | 医)久康会 平田東九州病院   | 延 岡 市 | 内, 外, 麻, 精, 神内,<br>脳神経, 老施, 心内 | 5   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院            | 延 岡 市 | 内                              | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医)育生会 井上病院      | 延 岡 市 | 産婦, 内, 小                       | 3   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院        | 延 岡 市 | 消内                             | 5   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター     | 延 岡 市 | 内, 小                           | 2   | 非常勤     |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ | 延 岡 市 | 内                              | 1   | 常勤      |
| 230156 | 医)中心会 野村病院      | 延 岡 市 | 内, 外                           | 2   | 常勤      |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院      | 日 向 市 | 外, 内, 整, 神内                    | 6   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院     | 門 川 町 | 内                              | 3   | 常勤      |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院   | 美 郷 町 | 内, 整                           | 2   | 常勤      |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所  | 美 郷 町 | 内                              | 1   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院         | 都 農 町 | 内, 放, 外                        | 3   | 常勤      |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院   | 高 鍋 町 | 整, 内, 心内, 眼, 健診, 循, 脳          | 16  | 常勤・非常勤  |
| 170058 | 国立病院機構宮崎病院      | 川 南 町 | 呼, 循, 消内, 外                    | 8   | 常勤      |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院      | 西 都 市 | 内, 外                           | 2   | 常勤      |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院    | 日 南 市 | 内                              | 4   | 常勤・非常勤  |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院      | 日 南 市 | 精                              | 1   | 常勤      |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院      | 日 南 市 | 内                              | 2   | 常勤      |
| 160037 | 医)十善会 県南病院      | 串 間 市 | 精, 内(いずれか)                     | 1   | 常勤      |
| 170047 | 日南市立中部病院        | 日 南 市 | 内, 外, 整, リハビリ, 在宅診療            | 5   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院          | 串 間 市 | 内, 外                           | 2   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科          | 日 南 市 | 不問                             | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里    | 日 南 市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院    | 小 林 市 | 内, 整, 皮膚                       | 5   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科    | 小 林 市 | 眼                              | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180067 | 小林市立病院          | 小 林 市 | 循, 救急, 産婦, 放, 小                | 10  | 常勤      |
| 180076 | 医)友愛会 園田病院      | 小 林 市 | 外, 内, 整                        | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院     | 小 林 市 | 精, 内                           | 3   | 常勤      |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院    | 小 林 市 | 整, 内                           | 4   | 常勤・非常勤  |
| 210116 | 医)連理会 せの内科クリニック | 小 林 市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤  |
| 23055  | 医)三和会 池田病院      | 小 林 市 | 脳外, 整, 麻, 内, 放射, 外             | 7   | 常勤・非常勤  |
| 180070 | 高千穂町国保病院        | 高千穂町  | 内, 透                           | 3   | 常勤      |
| 190088 | 日之影町国保病院        | 日之影町  | 内, 整                           | 1   | 常勤      |



## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26年 4月 14日現在

|             |                                                                                                                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件     | <p>① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263番, 263番</p> <p>土地のみ：593.5坪(2022.17m<sup>2</sup>)</p> <p>＜所有者：児湯医師会員<br/>(医)松雲会 林クリニック＞</p>       |
| 2. 譲渡又は賃貸物件 | <p>② 宮崎市大字本郷南方 407番</p> <p>建物：鉄筋コンクリート 2 階建(905m<sup>2</sup>)</p> <p>※駐車場：14台分</p> <p>別途職員専用駐車場有り</p> <p>＜黒岩医院跡＞</p> |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(M)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26 年 4 月 22 日現在

| 5                    |   |                                            | 月  |   |                                                                            |        |
|----------------------|---|--------------------------------------------|----|---|----------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1                    | 木 | 19: 00 県内科医会会計監査                           | 17 | 土 |                                                                            | ↑      |
| 2                    | 金 |                                            | 18 | 日 | 10: 00 (日医)日医在宅医療支援フォーラム                                                   |        |
| 3                    | 土 | (憲法記念日)                                    | 19 | 月 | 13: 30 県移植推進財団理事会                                                          | 保      |
| 4                    | 日 | (みどりの日)                                    | 20 | 火 | 14: 00 (日医)日医理事会                                                           | 審      |
| 5                    | 月 | (こどもの日)                                    |    |   | 18: 20 医協打合会                                                               |        |
| 6                    | 火 | (振替休日)                                     | 21 | 水 | 18: 30 県医会計監査                                                              | ↓      |
|                      |   |                                            | 22 | 木 |                                                                            |        |
| 7                    | 水 | 16: 00 支払基金幹事会                             | 23 | 金 |                                                                            |        |
| 8                    | 木 | 19: 30 県産婦人科医会常任理事会                        | 24 | 土 | 16: 00 死体検案研修会                                                             | ↑      |
| 9                    | 金 |                                            | 25 | 日 |                                                                            |        |
| 10                   | 土 | 13: 20 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会<br>15: 00 産業医研修会 | 26 | 月 | 18: 30 勤務医部会会計監査<br>19: 00 勤務医部会理事会<br>19: 00 広報委員会<br>19: 00 学校医部会理事・評議員会 | 社<br>保 |
| 11                   | 日 | 8: 00 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会                   | 27 | 火 | 18: 00 医協理事会<br>18: 30 第 1 回理事会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会<br>19: 00 県医臨時代議員会   | 審<br>査 |
| 12                   | 月 |                                            |    |   | 28                                                                         | 水      |
| 13                   | 火 | 18: 00 治験審査委員会<br>19: 00 第 4 回常任理事協議会      | 29 | 木 | 19: 00 県内科医会理事会<br>19: 30 県内科医会評議員会                                        |        |
| 14                   | 水 |                                            |    |   | 30                                                                         | 金      |
| 15                   | 木 | 18: 30 医協会計監査<br>19: 00 県内科医会学術委員会         | 31 | 土 | 19: 00 宮崎県ゆかりの福岡都市圏医師との交流会                                                 |        |
| 16                   | 金 | 14: 30 九州地方社会保険医療協議会総会<br>19: 30 広報委員会     |    |   |                                                                            |        |
| ※都合により 変更になることがあります。 |   |                                            |    |   |                                                                            |        |

※都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26 年 4 月 22 日現在

| 6 月 |   |                                                                                                                                                                  |    |   |                                                                           |
|-----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 日 | 10: 30 eレジフェア                                                                                                                                                    | 14 | 土 |                                                                           |
| 2   | 月 |                                                                                                                                                                  | 15 | 日 | 国                                                                         |
| 3   | 火 | 15: 00 県学校保健会理事・評議員会<br>16: 00 学校保健・学校安全に係る表彰<br>審査会<br>19: 00 第 6 回常任理事協議会                                                                                      | 16 | 月 | 19: 30 広報委員会                                                              |
| 4   | 水 |                                                                                                                                                                  | 17 | 火 | 14: 00 (日医)日医理事会<br>18: 20 医協打合会<br>19: 00 第 8 回常任理事協議会                   |
| 5   | 木 | 全国医師国保組合協会通常総会<br>16: 00 県移植推進財団評議員会<br>19: 30 日産婦学会専門医制度委員会宮崎<br>地方委員会                                                                                          | 18 | 水 |                                                                           |
| 6   | 金 | 宮大医学部附属病院マッチング& 基幹<br>型臨床研修病院説明会                                                                                                                                 | 19 | 木 |                                                                           |
| 7   | 土 | 14: 30 勤務医部会理事会<br>15: 30 勤務医部会総会・講演会<br>15: 30 九医連常任委員・次期会長合同<br>協議会<br>16: 00 県内科医会総会・学術講演会<br>16: 40 九医連常任委員・次期日医代議員<br>協議会<br>18: 10 九州ブロック日医代議員(次期含)<br>連絡会 | 20 | 金 |                                                                           |
| 8   | 日 |                                                                                                                                                                  | 21 | 土 | 14: 30 医師協同組合総代会<br>15: 10 県医連執行委員会<br>15: 45 県医定例代議員会<br>17: 00 県医総会     |
| 9   | 月 | 19: 00 園医部会理事会                                                                                                                                                   | 22 | 日 |                                                                           |
| 10  | 火 | 18: 00 治験審査委員会<br>19: 00 第 7 回常任理事協議会                                                                                                                            | 23 | 月 | 19: 00 広報委員会                                                              |
| 11  | 水 | 15: 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>16: 00 支払基金幹事会                                                                                                                       | 24 | 火 | 18: 00 医協理事会<br>19: 00 第 2 回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会                  |
| 12  | 木 |                                                                                                                                                                  | 25 | 水 | 15: 00 労災診療指導委員会                                                          |
| 13  | 金 | 17: 30 西諸医師会定時総会                                                                                                                                                 | 26 | 木 |                                                                           |
|     |   |                                                                                                                                                                  | 27 | 金 | 18: 00 九州ブロック日医代議員連絡会議<br>18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎<br>部会                    |
|     |   |                                                                                                                                                                  | 28 | 土 | 9: 00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡<br>会議<br>9: 30 (日医)日医定例代議員会<br>15: 00 宮崎市郡医師会定時総会 |
|     |   |                                                                                                                                                                  | 29 | 日 | 9: 00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡<br>会議<br>9: 30 (日医)日医臨時代議員会                       |
|     |   |                                                                                                                                                                  | 30 | 月 |                                                                           |

※都合により、変更になることがあります。

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E -M a i l : g e n k o @ m i y a z a k i m e d . o r . j p

F A X : 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

T E L : 0 9 8 5 - 2 2 - 5 1 1 8

※ 日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAX の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

匿名での掲載（可・不可）



# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

※アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                            | 単位  | CC<br>がん       |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----|----------------|
| 第 6 回宮崎てんかん実践フォーラム<br>5 月 9 日(金)<br>19: 00～ 20: 45<br>県医師会館              | 小児てんかんの診断と治療<br>ーより良い包括医療を求めてー<br>東京女子医科大学名誉教授 大澤 真木子<br>参加費： 500円 | ◇共催<br>宮崎てんかん実践フォーラム<br>※グラクソ・スミスクライン(株)<br>☎ 080-1020-4326    | 1.5 | 32<br>35<br>72 |
| 延岡医学会学術講演会<br>5 月 9 日(金)<br>19: 00～ 20: 30<br>ホテルメリージュ<br>延岡             | 進化し続ける糖尿病薬物治療と今後の展望<br>大分大学医学部附属病院実践看護学講座<br>老年看護学教授 濱口 和之         | ◇共催<br>延岡医学会<br>※サノフィ(株)<br>☎ 0120-852-297<br>◇後援<br>延岡内科医会    | 1   | 8<br>9         |
| 平成 26 年度心臓検診一次検討会(前期)<br>5 月 9 日(金)<br>19: 30～ 20: 30<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館 | 症例検討会                                                              | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222 | 1   | 11<br>43       |

| 名称・日時・場所                                                                                     | 演 題                                                                                                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>5月10日(土)<br>15:00～18:30<br>県医師会館(TV会<br>議:都城・延岡・<br>日向・児湯・西都・<br>南那珂・西諸) | (1)総論または(1)労働安全衛生法の改正点、関連主要<br>通達<br>労働安全衛生関係法令について(仮)<br>宮崎労働局労働基準部健康安全課長<br>菱井 年<br>(1)総論<br>分子生物学と産業医学の接点<br>ーがん研究から概日リズム研究ー<br>あさひ松本病院 河野 公俊<br>基礎研修の後期研修会、生涯研修の更新および専門<br>研修会:3.5単位 | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                              | 3.5    | 1<br>3<br>4<br>7<br>8<br>9<br>84 |
| 宮崎市郡産婦人科<br>医会総会5月例会<br>5月12日(月)<br>19:00～20:00<br>県医師会館                                     | 超音波を使った乳癌検診:読影のポイント<br>まつ婦人科クリニック院長 松 敬文                                                                                                                                                 | ◇主催<br>※宮崎市郡産婦人科医会<br>☎0985-53-3434                                          | 1      | 9<br>11<br>①乳                    |
| 都城市北諸県郡医<br>師会内科医会学術<br>講演会<br>5月13日(火)<br>19:00～20:30<br>ホテル中山荘                             | 糖尿病治療の変遷<br>ーSGLT2阻害剤をどう使いこなすかー<br>宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝学分野<br>助教 上野 浩晶                                                                                                                       | ◇共催<br>※都城市北諸県郡医師会内科医会<br>☎0986-22-0711<br>小野薬品工業(株)<br>アストラゼネカ(株)           | 1.5    | 75<br>76<br>82                   |
| 日向市東臼杵郡<br>医師会学術講演会<br>5月14日(水)<br>19:00～20:30<br>ホテルベルフォー<br>ト日向                            | 当院での循環器診療<br>ー心不全治療の新たな試みー<br>宮崎市郡医師会病院副院長 柴田 剛徳                                                                                                                                         | ◇共催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>大塚製薬(株) | 1      | 24<br>45                         |

| 名称・日時・場所                                                                            | 演 題                                                                           | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------|
| 第 85 回 江南医療連携<br>の会・症例検討会<br>5 月 15 日(木)<br>19: 00～ 20: 30<br>宮崎江南病院                | 腹壁腫瘍の画像診断<br>宮崎江南病院放射線科 杜若 陽祐<br>外耳道に開口した先天性の耳ろう孔の 1 例<br>同形成外科 赤塚 美保子<br>他 2 | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎ 0985-51-7575                                         | 1.5    | 53<br>60      |
| 延岡医学会学術<br>講演会(宮崎県北地<br>区整形外科医会)<br>5 月 16 日(金)<br>19: 00～ 20: 30<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | 腰痛治療の留意点―薬物療法を含めて―<br>長崎労災病院副院長 小西 宏昭                                         | ◇共催<br>延岡医学会<br>宮崎県北地区整形外科医会<br>※昭和薬品化工(株)<br>☎ 0120-56-4089                                 | 1      | 59<br>60      |
| 第 18 回 宮 崎 NST<br>研究会<br>5 月 1 日(土)<br>15: 00～ 18: 00<br>宮日会館                       | 癌性悪液質の病態と治療 他<br>鹿児島大学医歯学総合研究科心身内科学<br>教授 乾 豪太 他<br>参加費: 1,000円               | ◇共催<br>宮崎 NST 研究会<br>宮崎県プライマリ・ケア研究会<br>宮崎県栄養士会<br>宮崎県病院薬剤師会<br>※(株)大塚製薬工場<br>☎ 090-5918-0232 | 3      | 5<br>80<br>81 |
| 宮崎市郡医師会 5<br>月例会特別講演会<br>しのめ医学会<br>5 月 19 日(月)<br>19: 00～ 20: 00<br>宮崎観光ホテル         | 不眠の心身に及ぼす影響と薬物治療―睡眠薬のガイ<br>ドラインに沿った実践的な使い方―<br>久留米大学医学部神経精神医学講座教授<br>内村 直尚    | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                                                            | 1      | 20<br>70      |

| 名称・日時・場所                                                                  | 演 題                                                                                         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                      | 単位  | CC・がん                  |
|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------|
| 宮崎市郡外科医会<br>5月例会<br>5月19日(月)<br>19:10～20:10<br>宮崎観光ホテル                    | 肝切除術の進歩について<br>宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学准教授<br>近藤 千博                                                 | ◇主催<br>※宮崎市郡外科医会<br>☎ 0985-53-3434<br>◇共催<br>第一三共(株)                     | 1   | 9<br>84                |
| 第186回 宮崎県<br>泌尿器科医会学術<br>講演会<br>5月22日(木)<br>18:50～20:40<br>宮崎観光ホテル        | 宮崎県のCKD患者に長生きしてもらうためには<br>名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター<br>移植外科副部長 後藤 憲彦<br>腎移植の最新状況<br>同外科部長 渡井 至彦 | ◇共催<br>宮崎県泌尿器科医会<br>アステラス製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部泌尿器科<br>☎ 0985-85-2968 | 1.5 | 9<br>10<br>84          |
| 平成26年度心臓<br>検診二次検討会<br>(前期)<br>5月23日(金)<br>19:30～20:30<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館 | 症例検討会                                                                                       | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222           | 1   | 33<br>44               |
| 平成26年度宮崎県<br>医師会死体検案<br>研修会<br>5月24日(土)<br>16:00～18:30<br>県医師会館           | 死体書の視かたと検案書作成の注意点 他<br>宮崎大学医学部法医学分野教授<br>湯川 修弘 他                                            | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県警察医会                       | 2.5 | 1<br>2<br>4<br>7<br>13 |

| 名称・日時・場所                                                          | 演 題                                                                                                                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                      | 単 位 | CC・<br>がん            |
|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------|
| 日本東洋医学会<br>九州支部宮崎県<br>部会・総会<br>5月25日(日)<br>9:00~12:30<br>延岡市医師会病院 | 排尿障害の治療経験について<br>石内医院長 石内 裕人<br>ウイルス感染症に対応できる銀翹散について<br>九州保健福祉大学薬学部東洋医薬学研究室<br>教授 程 炳鈞<br>他 2<br>参加費: 3,000円(医師)<br>2,000円(薬剤師・鍼灸師)<br>1,000円(その他) | ◇主催<br>日本東洋医学会九州<br>支部宮崎県部会<br>◇後援<br>延岡市医師会<br>延岡漢方研究会<br>(連絡先)<br>石内医院<br>☎ 0982-30-1885 | 3.5 | 45<br>65<br>71<br>83 |
| 宮崎県内科医会<br>学術講演会<br>5月27日(火)<br>19:15~20:30<br>宮崎観光ホテル            | 糖尿病薬物治療の現状と将来<br>—SGLT 2 阻害薬への期待—<br>川崎医科大学内科学特任教授 加来 浩平                                                                                           | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>大正富山医薬品(株)<br>※ノバルティスファーマ(株)<br>☎ 0985-28-6228                           | 1   | 2<br>9               |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>5月30日(金)<br>19:00~20:15<br>ホテルメリージュ<br>延岡       | 慢性疼痛治療における薬物療法(仮)<br>潤和会記念病院ペインクリニック科医長<br>立山 真吾                                                                                                   | ◇共催<br>延岡医学会<br>※持田製薬(株)<br>☎ 0985-23-3130<br>ヤンセンファーマ(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会                 | 1   | 60<br>61             |
| 第 13 回宮崎緑内障<br>セミナー<br>5月31日(土)<br>18:00~20:05<br>KITEN           | 緑内障難症例(仮)<br>佐々木眼科院長 佐々木 究 他<br>よりよい緑内障診療を目指して<br>金沢大学医薬保健学域医学類視覚科学教授<br>杉山 和久<br>参加費: 2,000円                                                      | ◇共催<br>宮崎緑内障研究会<br>※ファイザー(株)<br>☎ 092-281-7031                                             | 2   | 36                   |



| 名称・日時・場所                                                       | 演 題                                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                               | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん       |
|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------|---------------------|
| 宮崎県内科医会学<br>術講演会<br>6月3日(火)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル          | 肥満合併2型糖尿病患者に対するDPP-4阻害薬<br>anagliptinの使用経験<br>県立日南病院内科医長 椎屋 智美<br>激変する糖尿病治療の新時代<br>陣内病院長 陣内 秀昭 | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※興和創薬(株)<br>☎0985-24-8175       | 1.5    | 8<br>75<br>76       |
| 宮崎県医師会勤務<br>医部会総会前期<br>講演会<br>6月7日(土)<br>15:30～18:00<br>県医師会館  | 災害医療アップデート(仮)<br>日本医科大学附属病院救命救急科准教授 布施 明<br>医療情報の共有による医療サービスと質の向上<br>宮崎大学医学部附属病院長 吉原 博幸        | ◇主催<br>※宮崎県医師会勤務医部会<br>☎0985-22-5118              | 2      | 1<br>4<br>9<br>84   |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6月11日(水)<br>19:00～21:00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館 | (3)健康管理<br>糖尿病の予防と治療<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会:2単位                                  | ◇共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118 | 2      | 5<br>11<br>76<br>82 |
| 第88回宮崎市郡医<br>師会心臓病研究会<br>6月12日(木)<br>18:50～20:20<br>宮崎観光ホテル    | コレステロール吸収阻害と心臓病<br>福岡大学医学部心臓・血管内科教授 朔 啓二郎                                                      | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119<br>バイエル薬品(株)   | 1.5    | 2<br>9<br>15        |

| 名称・日時・場所                                                            | 演 題                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 12 日(木)<br>19: 00～ 21: 00<br>県医師会館          | (1)労働安全衛生法の改正点，関連主要通達<br>この頃の産業保健の動向<br>ー厚生労働省報道発表資料からー<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表<br>矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会：2 単位 | ◇共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                           | 2      | 3<br>7<br>8<br>9     |
| 第 35 回宮崎てんか<br>ん懇話会<br>6 月 13 日(金)<br>19: 00～ 21: 00<br>M R T m icc | 道路交通法変更に伴うてんかん治療の変化について<br>三重大学大学院医学系研究科精神神経科学<br>教授 岡田 元宏                                               | ◇共催<br>宮崎てんかん懇話会<br>※協和発酵キリン(株)<br>☎ 0985-22-8801                                            | 2      | 13<br>32<br>35<br>73 |
| 第 68 回宮崎整形外<br>科懇話会<br>6 月 14 日(土)<br>18: 00～ 19: 00<br>宮日会館        | 上腕骨近位端骨折の治療<br>手術療法の比較と最新の最少侵襲プレート固定<br>帝京大学整形外科准教授 小林 誠<br>参加費：1,000円                                   | ◇主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎ 0985-85-0986 | 1      | 57<br>77             |
| 循環器疾患検討会<br>特別講演会<br>6 月 16 日(月)<br>19: 00～ 20: 20<br>宮崎観光ホテル       | 救急医学と心電図<br>慶応義塾大学医学部救急医学教室教授<br>堀 進悟                                                                    | ◇共催<br>循環器疾患検討会<br>※エーザイ(株)<br>☎ 0985-26-2676                                                | 1      | 44<br>45             |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>6 月 18 日(水)<br>14: 00～ 16: 00<br>県医師会館          | (4)メンタルヘルス対策<br>職場のメンタルヘルスの有効性<br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会：2 単位                                    | ◇共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                           | 2      | 3<br>5<br>69<br>70   |

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                            | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 第16回宮崎心エコー研究会<br>6月18日(水)<br>18:45～20:15<br>宮崎市郡医師会病院                       | 大動脈弁膜症の治療を考える<br>東京大学医学部附属病院検査部講師<br>大門 雅夫                                     | ◇共催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>第一三共(株)                 | 1.5    | 1<br>2<br>15         |
| 平成26年度心臓検診一次検討会(後期)<br>6月20日(金)<br>19:00～21:00<br>日向市東臼杵郡医師会館               | 症例検討会                                                                          | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222 | 2      | 11<br>33<br>43<br>44 |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>6月20日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                            | (6)作業環境管理・作業管理<br>労働衛生保護具について<br>下津労働衛生コンサルタント事務所代表<br>下津 義博<br>生涯研修の实地研修会：2単位 | ◇共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118             | 2      | 9<br>10<br>11<br>46  |
| 第40回宮崎大腸肛門疾患研究会<br>—老健法の研修指定に基づく大腸癌研修会—<br>6月20日(金)<br>19:00～20:30<br>県医師会館 | 大腸ESDについて(仮)<br>宮崎大学医学部消化器血液学分野助教<br>三池 忠<br>参加費：1,000円<br>(研究会会員及びコメディカルは無料)  | ◇共催<br>宮崎大腸肛門疾患研究会<br>※武田薬品工業(株)<br>☎ 0985-24-6763<br>天藤製薬(株)  | 1.5    | 54<br>55<br>(大腸)     |

| 名称・日時・場所                                                             | 演 題                                                                                                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                            | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん        |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 宮崎県内科医会<br>学術講演会<br>6月23日(月)<br>19:00～20:50<br>ホテルJA Lシティ<br>宮崎      | 宮崎県におけるアルブミン尿実態調査の報告(仮)<br>宮崎大学医学部附属病院第一内科<br>山下 靖宏<br>臓器再生医療の最前線<br>—本当に臨床応用は可能になるのか(仮)—<br>東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科教授<br>横尾 隆 | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※大日本住友製薬(株)<br>☎ 0985-29-5855                | 1.5    | 8<br>73<br>82        |
| 宮崎市産婦人科<br>医会例会<br>6月26日(木)<br>19:15～20:15<br>宮崎観光ホテル                | 卒後14年目、中堅産婦人科医として実践、指導して<br>いる術後合併マネジメント<br>静岡赤十字病院産婦人科副部長 市川 義一                                                         | ◇共催<br>※宮崎市産婦人科医会<br>☎ 0985-53-3434<br>科研薬品(株)                 | 1      | 11<br>84             |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月3日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                  | (4)メンタルヘルス対策<br>感情労働一人よりも余計に気をまわしています—<br>都城新生病院 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                 | ◇共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>※宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118             | 2      | 3<br>6<br>8<br>13    |
| 平成26年度心臓検<br>診二次検討会(後期)<br>7月4日(金)<br>19:00～21:00<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館 | 症例検討会                                                                                                                    | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222 | 2      | 11<br>33<br>43<br>44 |

## 診療メモ

## 今、なぜロコモティブシンドローム(ロコモ)なのか？

宮崎大学医学部感覚運動医学講座 整形外科分野 帖<sup>ちょう</sup>佐<sup>さ</sup>悦<sup>えつ</sup>男<sup>お</sup>

日本の平均寿命は世界のトップレベルですが健康寿命(自立した生活ができる生存期間)が長いとはいえないのが現状です。自立した生活を阻害する要因の一つに、運動器の障害があり、運動器の障害は平均寿命の延びに伴い増加しています。私たちはこの障害を何とかすることで介護をうけずに健やかに生きられることを目標にロコモ予防の取組みを行っています。

## 1 「運動器」という言葉を知っていますか？

運動器とは、骨・関節・筋や神経など身体を動かす器官のことです。

## 2 「ロコモティブシンドローム(ロコモ)運動器症候群」とは？

日本整形外科学会が、2007年(平成19年)に提唱した運動器の障害による要支援・要介護の状態やそのリスクが高い状態を表す新しい言葉です。

## 3 今、なぜロコモがより注目されているのでしょうか？

- ・介護が必要になった主な原因は運動器疾患で全体の22.9%(脳疾患21.5%)を占めます。中でも要支援者の34%は運動器疾患であり(脳疾患15.1%)、その予防が重要であるため国が運動器疾患に対する取組みを開始しました(厚生労働省平成22年国民生活基礎調査の概要)。
- ・ロコモに関与する代表的疾患として変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症と骨粗鬆症が

あり、これらの病気を一つでも持っている人は国内で4,700万人(男性2,100万人、女性2,600万人)もいます。

- ・健康日本21(第二次)では、①ロコモを認知している国民の割合を増加させる、②足腰の痛みのある高齢者や要介護状態の高齢者の割合を減少させる、という方針が記載されました(平成24年7月10日；官報)。
- ・日経トレンディ2013年ヒット予測ランキングの第2位に掲載され、一般の方にも広く周知され始めました。

以上のことから「新国民病」と言われるようになっていきます。

## 4 ロコモをどうやって見つけるのでしょうか？

ロコモもメタボと同様特定の疾患ではありませんので、それに気づくための指針があります。

表 7つのロコチェック(2009/10/13に5つから7つの項目に改訂)

- 1) 片脚立ちで靴下がはけない
- 2) 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 3) 階段を上るのに手すりが必要である
- 4) 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 5) 15分くらい続けて歩けない
- 6) 2kg程度の買い物(1リットルの牛乳パック2個程度)をして持ち帰るのが困難である
- 7) 家の中のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である



## ・ロコチェック(表)

ロコモを自分で気付くためのツールです。一つでも該当すればロコモが疑われますのでロコモ予防(ロコトレ；ロコモ予防体操)を指導してください。

## ・ロコモ度テスト 2013年度版

将来ロコモになりうる可能性を判定する新たな方法です。その方法として、①下肢筋力判定方法：立ち上がりテスト、②歩幅判定方法：2ステップテスト、③身体状況・生活状況判定方法：ロコモ25 があります。詳細は、ロコモチャレンジ協議会HP(<https://locomotion-jp.jp/check/test/>)を参照してください。

## 5 運動器不安定症(MADS: Musculoskeletal Ambulation Disorder Symptom Complex: マーズ)とは？

「運動器不安定症」は、運動器の障害に関係しロコモと同様の概念です。ただし、この運動器不安定症は保険収載され、その診断には高齢(65歳以上)であり、変形性膝関節症や腰部脊柱管狭窄症など運動機能低下をきたす疾患(またはその既往)が存在すること、日常生活自立度判定がランクJまたはAであること、運動機能評価テストの項目を満たすことが条件となっています。簡単には、ロコモの中でより重症な運動器疾患があり上記を満たす場合と考えてください(図)。

## 6 なぜ「ロコモ予防」が必要なのでしょう？

ーひそかに忍び寄るロコモー

加齢とともに多くの運動器疾患に罹患しますが、症状が出現した際には、既に病期が進んでいることがあり、ロコモは知らないうちに(ひそかに)忍び寄ってきます。もし、ロコモが疑われた場合は、ロコモになったり悪化したりしないように運動器の専門医の診察が必要です。

## 7 「ロコモ予防の体操・運動」は？

ロコモ体操・ロコトレ(ロコモーショントレーニング；基本は片脚立ち、スクワット)や個々にあった軽いスポーツ(ウォーキング、水泳、卓球、太極拳など)を指導してください。運動器が障害されている場合、不適切な運動やスポーツを実施することで逆に悪化することがあります。

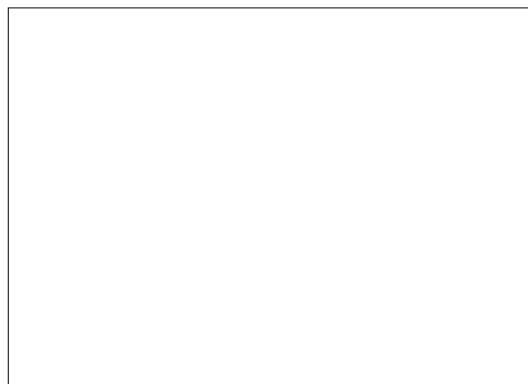


図 運動器の健康度と日常生活の自立度

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課までご連絡ください。（TEL 0985-22-5118）

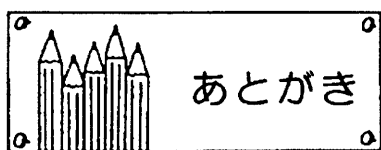
| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 1 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種後副反応報告書(Excel 版)の厚生労働省ホームページ掲載について</li> <li>・ 予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行等について</li> <li>・ 「公益社団法人日本医師会防災業務計画」の策定について</li> <li>・ 性感染症予防啓発リーフレットの送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 4 月 2 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故情報収集等事業第 36 回報告書の公表について(通知)</li> <li>・ 「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・ 平成 26 年度診療報酬改定に係る省令, 告示, 通知の送付について(3 月 26 日, 28 日付け)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 4 月 3 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療用医薬品購入の取引がある医薬品卸売販売業者に関する相談窓口の設置等について</li> <li>・ 「70 歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置実施要綱」の一部改正等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4 月 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度診療報酬改定に係る通知等の送付について(3 月 28 日, 31 日付け)</li> <li>・ 内服薬処方せんの記載方法の再周知について</li> <li>・ 「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第 10 回集計報告」の周知について</li> <li>・ ナタリズマブ(遺伝子組換え)製剤の使用に当たっての留意事項について</li> <li>・ トルバプタン製剤の使用に当たっての留意事項について</li> <li>・ 新医薬品の再審査結果平成 25 年度(その 5)について</li> <li>・ 「ヒト受精卵の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針」の遵守について</li> <li>・ 平成 26 年度労災診療費算定基準の一部改定について</li> </ul>                                                                                                    |
| 4 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民年金・厚生年金保険障害認定基準の一部改正及び一部改正に伴う診断書の項目改正等について</li> <li>・ 医療法人会計基準(四病院団体協議会)について</li> <li>・ 日本医薬品卸売業連合会による医薬品に係る消費税表示カルテルの実施について</li> <li>・ 消費税率引き上げに伴う便乗値上げに関する照会・問合せの周知について</li> <li>・ 宮崎県災害医療コーディネーターの委嘱について(通知)</li> <li>・ 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律等の施行に伴う Q &amp; A」の更新について</li> <li>・ 予防接種法施行規則の一部を改正する省令等の施行等について</li> <li>・ 予防接種に関する基本的な計画の施行について</li> <li>・ 予防接種法施行令の一部を改正する政令及び新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令の施行について</li> </ul> |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月9日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の学校給食における食物アレルギー対応について(周知依頼)</li> <li>・「日本医師会臨床研修医支援ネットワーク」パンフレットの送付について</li> <li>・ドクターヘリ導入促進事業に係る無線の使用についての一部改正について</li> <li>・病院前医療体制の一層の充実について</li> <li>・NBCR 対策推進機構「平成 26年度『有毒化学物質の取り扱い及び化学災害担当者養成講習会』」について</li> <li>・平成 26年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について及び厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その2)」の送付について</li> </ul>                                  |
| 4月10日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成 26年度歯と口の健康週間」について</li> <li>・医療事故情報収集等事業第 36回報告書の送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 4月11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「病院におけるスプリンクラー設置に関する調査」の実施について</li> <li>・全国健康保険協会が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について</li> <li>・創立 10周年記念『第5回あじさいネット研究会』の開催について(周知方ご依頼)</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・A型肝炎の発生動向及び注意喚起について</li> </ul>                                                                                            |
| 4月14日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法人の附帯業務の拡大及び国際展開に関する業務について</li> <li>・「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について」の一部改正について(通知)</li> <li>・一般用医薬品および一般用検査薬に関するアンケート調査について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その3)」送付について</li> <li>・「感染症対策特別促進事業の実施について」の一部改正について</li> <li>・「健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診等の実施について」の一部改正について</li> <li>・特定感染症検査等事業について</li> <li>・予防接種法に基づく予防接種に関するリーフレットについて</li> </ul> |
| 4月17日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各がん検診実施機関等登録(指定)名簿について(送付)</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)が疑われる事例の発生について</li> <li>・平成 26年度介護報酬改定(消費増税対応)関連通知等の送付について</li> <li>・高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)が疑われる事例の発生について(情報提供)</li> <li>・愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について</li> <li>・第 45回全国学校保健・学校医大会「分科会」における研究発表の演題募集について</li> </ul>                                                                 |

-----

あなたできますか？(解答)

|      |   |   |   |   |   |   |   |   |    |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1    | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| a, d | e | d | a | a | a | e | c | e | e  |



4 月からいよいよ消費税が増税されました。庶民の暮らし直撃の感がありますが、医療機関の経営にも様々な影響が出てくるものと思われます。その陰で、宮崎市の国保税も 4 月から引き上げられたのをご存知でしょうか。試算によると 40 歳以上の夫婦と子ども二人の平均的な家庭で、年間所得金額が 200 万円の世帯の負担は、平成 25 年度には 342,400 円だったのが、2 回の値上げを経て平成 26 年度からは 413,400 円になるとのこと。受診時には更に自己負担も発生するわけですから、病気になっても経済的な理由で受診を控えたり、手遅れになってから受診したりといった事例が増えてくるのではないかと危惧されます。日本医療政策機構の調査でも、1 年間の間に「経済的な理由」により受診を控えた方が年収 300 万円以下の方で 39% もいるそうです。これでまともな国民皆保険制度といえるのでしょうか。もちろん宮崎市だけの責任ではありません。宮崎市は、納税相談に訪れてくれれば、たとえ分割払いでも保険証を発行するとのこと。もともとは国が責任を放棄し予算を減らし続けてきた結果が保険税の値上げの原因です。消費税増税が国民の医療や福祉の充実のためであるという言い訳が、まったく矛盾に満ちていることを見事に象徴しているように思われてなりません。

さて、広報委員会が新しいメンバーに代わりました。医師会員相互の情報交換や交流にお役に立つことはもちろん、社会情勢にも眼をむけ、一般市民の感覚と乖離することのないように情報発信していきたいと思えます。様々なご意見をお待ちしております。(上野)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

消費税が 8% に予定通り上昇し、日々の生活に影響がはじめています。ガソリンもレギュラー 160 円/L 台、ハイオク 170 円/L 台に軒並み値上がりし辟易していますが、先日ハイオク 160 円台の安い表示価格につられ、入りました。「おたくは安いねー♡」と従業員に話しかけたら、「いや、これに消費税がつきます…」と申し訳なさそうに言われました。特別処置法で税抜き価格表示ができるようになったとはいえ、これでは〇〇ではないかと思いつつスタンドを後にしました。皆様お気をつけて。(釜付)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

4 月になり、当院も 5 年目となった。我が家の子どももどうにか 3 人とも新入生になれ(大、高、中)、それなりに早起きして頑張っているみたい。クラブはまだ決めかねており、帰宅部になるかも。さて、編集委員会も 4 月から入れ替えがあり、編集後記の名前が変わったことに気づかれた方は日州医事読みのプロ? ちなみに、私の新聞読みは後ろからです。新しく委員長になられた上野先生の下、皆様に読まれる紙面を作っていきますので、ご意見、ご要望、ご寄稿がありましたら宜しくお願いします。(篠原)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

新年度一発目の行事と言えば健康診断。気になる体重は昨年比 +2 kg。どうやら年度末の歓送迎会の連続が響いてしまったようです。何とか食事制限のみで減量しようと試みますが、男一人暮らしで栄養バランスのとれた食生活というのはなかなか難しいものです。臨床実習も始まり自炊の時間も取れず、どうしても外食・レトルト・惣菜に手を染めてしまいがちになります。せめて休日だけでも健康的な手料理を作る、女子力いや男子力の高い生活をしたいものです。(原尾)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

先日高鍋歴史総合資料館で、ケネディー大統領が最も尊敬する日本人“上杉鷹山公”の実兄で、明倫堂を設立した“秋月種茂公”の資料を見ました。種茂公は 1 歳の時「間引き」をくいとめるために 3 人目の子供には米 1 日 2 合、または麦 3 合を支給するといった「児童手当」を世界で初めて行いました。私も 3 兄弟の末っ子であり感慨深いものがありました。この天才兄弟の母親は黒田官兵衛の子孫(秋月藩 4 代黒田長貞の娘)です。そんな角度で大河ドラマ「黒田官兵衛」を見てみるのも宮崎県民として面白そうですね。(上園)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

はじめまして。今年度より広報委員を務めさせていただきます。宮崎大学医学部医学科学学生の上條苑子と申します。大学入学まで東京都におりまだ暮らし始めて 4 年目の宮崎県ですが、気候も人もあたたく穏やかで、とても住み心地が良いと感じています。

これから 2 年間のこの広報委員会を通して、大学の講義では学べない勉強をさせていただきながら、様々なことを吸収し、将来への考え方をひろげていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。(上條)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

昨年、風疹が流行し、妊娠の可能性のある方々の感染が心配されました。また現在首都圏で麻疹が流行しています。26 年度宮崎市では 4 月 2 日から、対象者にかぎり風疹・麻疹抗体検査が無料で受けられるようになっています。宮崎県内その他の地区では、風疹抗体検査のみ 5 月 1 日から無料化されます。該当する方々にお奨め下さい。(青木)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

## 今月のトピックス

### 日州医談 「警察活動に協力する医師の部会」の設置について

東日本大震災以降、大規模な自然災害に対する備えの必要性が強調されてきました。医師会としても災害時の被災者に対する医療の確保は最優先課題ですが、一方、死体検案についても大きな役割が期待されていることは意外な盲点かもしれません。日頃法医学には疎い一般の医師も、一度は「死体検案研修会」に参加しておくべきかも知れません。死体検案の現状を立元祐保県医常任理事に語っていただきました。

4 ページ

### お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集

毎年恒例の「はまゆう随筆」の原稿を募集いたします。要項は 19 ページにあります。皆様のご投稿をお待ちしております。

13 ページ

### 診療メモ 今、なぜロコモティブシンドローム(ロコモ)なのか？

日本は世界トップクラスの平均寿命を誇っていますが、それ以上に大切なのは健康寿命であると最近と言われるようになってきました。その中でもロコモティブシンドロームへの対応は、平均寿命と健康寿命の差の解消のために重要なことのようにです。帖佐悦男教授に解説していただきました。

なお、健康寿命については、エコー・リレー(7 ページ)でも松浦義史先生が取り上げておられます。あわせてご一読下さい。

60 ページ

日 州 医 事 第 77 号 (平成 26 年 5 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子、荒木 早苗

事務局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)